男女貞潔之理想　會長 島田三郎

公娼廢止之主張　副會長 安部磯雄

6－607

廓清

明治四十四年八月一日創刊
大正七年十一月七日第三種郵便物認可
（大正十一年六月一日印刷）
（大正十一年六月一日發行）
（毎月一回十日發行）

第十二卷第五號

□廓清時言……廓清會理事 伊藤江南
□物質の尊尚と風俗……廓清會長 島田三郎
□優生學より觀た産兒制限……同副會長 安部磯雄
□藝娼妓諸子の爲に……辯護士 布施辰治
□公娼に對する政府の態度……代議士 横山勝太郎
□婦人運動の倫理的考察……文學博士 藤井健治郎
□犯罪防止策に就て……法學博士 鈴木喜三郎
□小説の教育的價値……文學博士 吉田熊次
□奇蹟と自然科學……工學博士 佐藤定吉
□米國人の長所……婦人矯風會々頭 小崎千代子
□長崎遊廓の新施設……木藤冷劍
□可驚吉原檢黴の内幕……看護婦 瀧原和子
□嗚呼江原素六先生……江南生

東京 廓清會本部 發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

●廣告主へ御用の際は必ず雑誌「廓清」によるゝ旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

副長（新任）醫學士 岡本[illegible]雄

診察毎朝（但祭日及日曜の他）

院長 診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附上）

電話九段（六六二番 六六三番）

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

相模國茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後 入院診後應需

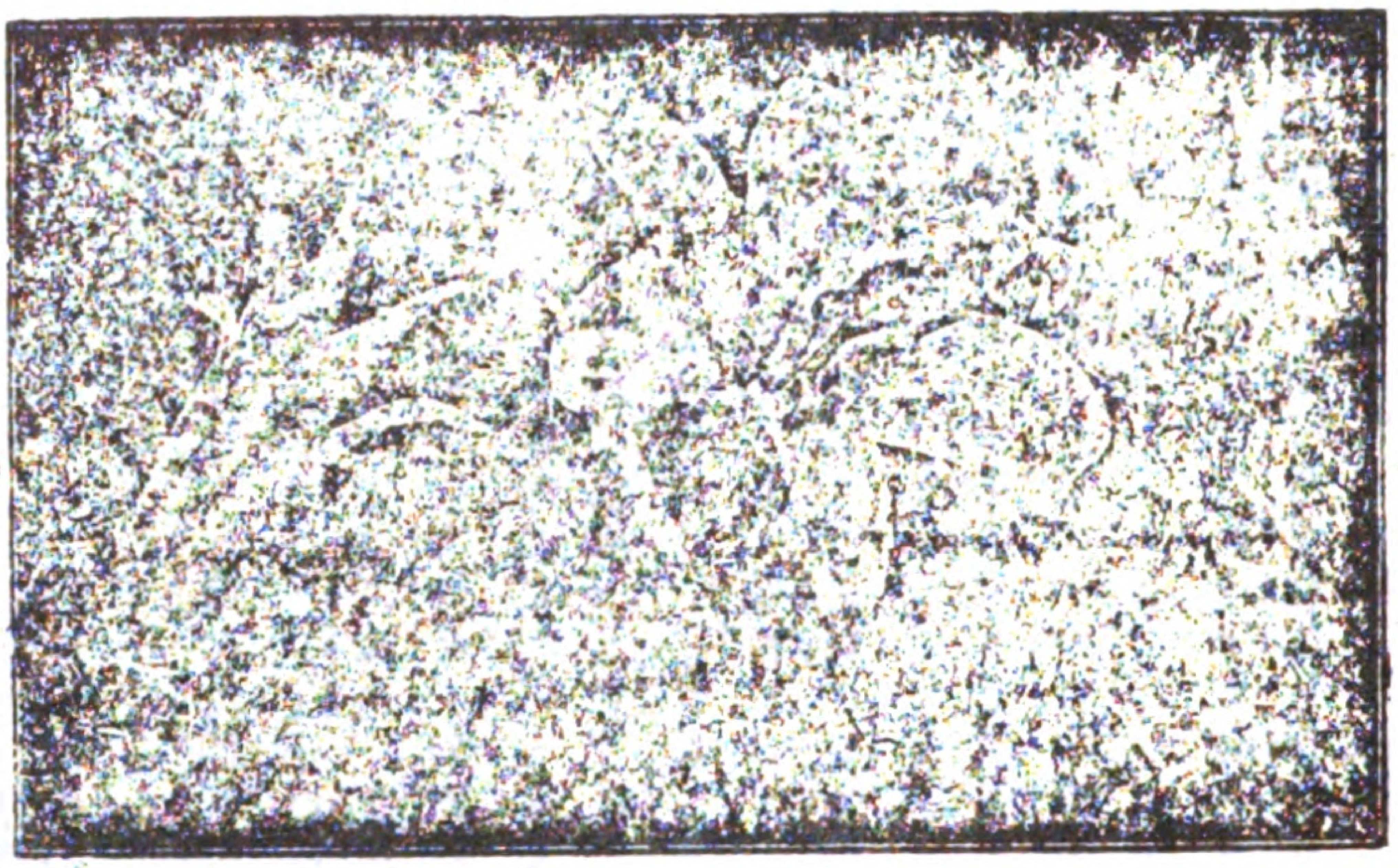
診察毎日午後 但祭日及日曜の他

◎募集――看護婦志願者及雜事婦

廓清
THE PURITY

大正十一年六月

第十二卷第五號



廓清時言

藝妓の人身賣買解決さる

宮城縣角の町村上よし江(二二)は一昨年五月中藝妓として十年の年期にて岩手縣一の關町泉修之助方に抱へられ、半年ばかり稼ぎゐたるに、十年の年期金を稼ぎ上げたるより、抱主の虐待に堪えず家に歸りたれば、抱主よりよし江を對手取り年期金返還の請求を起したる事件あり、宮城控訴院に於ては被告よし江の敗訴となり、大審院に上告したるに、大審院は原判決を破棄して再審を宮城控訴院に命じたる處、遂に控訴院は去月廿六日、藝妓の借金は民法第九十條の『公の秩序又は善良なる風俗に反する事項を目的とする法律行爲は無效とす』といふ條項に基き、藝妓及びその身元保證人は、其の契約遂行の義務なく、前借金返濟の義務もなしとの新判例を下したり。

眞に是れ靑天の霹靂に非ずや。吾人の長く大旱の雲霓を望むが如くに渴望したりし人道問題の一解決に非ずや。明治四十四年より叫び始めて大正の十一年、辛やく此の名判決に會す。欣喜して感謝せざらんとするも得んや。今日迄と雖も一二地方の區裁判所に於て如上の判決を見たりし事なきに非ざるも、判決例として一般的に示さるるに至りたるは今回を以て始めとす。

從來、藝娼妓の自由廢業に於ては、警察官は常に抱主の味方となり、抱主の債權を保護して、弱者の人權を無視し、折角正業に立歸らんとする意志を阻止して、再び醜業を强制し奴隷の境遇に泣かしむるに努力し、明治三十三年の娼妓取締による廢業の自由を奪ひ、道德的恢復の機會を與へざ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ることに全國とも略定まり居り、稀に救世軍其他の強力なる團體の援助の下に辛うじて廢業し得たりとするも、前借金の問題の爲に、差押へ假處分等を受け、一家親族を惱ますの例なりしに、今や此の新判決によりて藝妓は廢業の自由は元より、前借金すら返辨の必要なく、國法の保護の下に大手を振つて正業に就き得ることゝなりぬ。

吾人は未だ此の新判例が娼妓の場合に如何に適用さるべきかを知らずと雖も、純理の上に立ちて之を云へば、賣淫を目的としたる契約の認む可からざるは勿論也。ただ時に一部論者が、善良なる風俗公の秩序を維持せんが爲めに設けられたる公娼制度なるが故に、此の制度の公認せらるゝ間は娼妓の賣淫行爲は、民法第九十條に抵觸せずとなすが故に、此論に左袒する上級判官のある間は、未だ俄に喜ぶ可きに非ず。

元來醜業なるものは、原則として墮落せる女の生活上自ら好んで行ふ職業たるべき筈にて、此種の女を抱へて是に寄食する營業者の如き者を許すべからざるを本義とす。我等は勿論賣淫婦の人類の社會より絶滅すべきを希望すと雖も、賣淫が墮落せる女自身の生業としては、今日の經濟組織の改革せられざる限り、如何に議論をなすとも存在の事實は否定すべき樣もなからんが、之を喰物にし之を奴隷とするが如きは制度人爲を以て禁絶するを得べき可能性を有するものにして現に英國の如きは之に笞刑を加へ、その他瑞典諸威丁抹の如き絶娼國に於ては嚴罰を科しつゝあり。故に吾人は此の新判例の精神を徹底して娼妓にも及ぼし、藝娼妓の前借制度を亡ぼして、事實上の人身賣買を破り、我國に殘されたる最も醜惡なる人道問題を解決せんことを望んで止まず。

藝妓に對する良心の麻痺

藝妓なるものは賣淫婦の一形式として今日の社會に要求せらるゝ存在なることは、今更何人の叙説をも要せざる程明瞭なるに、近來藝妓に對する社會良心の麻痺眞に甚しきものあり、今その數例を擧げんに。

吾人は曩に大正博覽會に藝妓の公演するを不可とし、反對の陳情書を提出したりしが、當局者はさることには一切無關心に、その演藝館を以て却つて呼物の一とし、堂々と上野公園の入口には當日の番組を大書したる一大掲示場をさへ設けしめ居りて、未だ博覽會に入らざる何よりも先に、吾人の眼に映じ來るものは此の藝妓の演藝廣告に非ずや。更に奇怪なるは英國皇太子殿下の博覽會に行啓せらるゝや彼等賣笑の徒は臆面もなく盛裝して整列し、殿下は之に擧手の禮を賜へる處を寫眞に撮りて新聞紙に掲げたり。何等の不敬何等の不謹愼ぞや。一般民衆の道路に堵列して歡迎の誠意を表するをすら、種々の制限を設くる當局者は、假しや表面技藝を以て立つが如く粉飾すとも、裏面は醜業を以て生業とする者共なる事餘りに明白なる彼等をして、咫尺の處に奉迎せしめて怪しまざるは、其良心の麻痺驚くに堪えたり。

本年三月の聖日廣島市外八木梅林に於て、藝備日々新聞後援の下に廣島藝妓數名を變裝せしめ、懸賞を以て一般公衆をして之を探し求めしむ。好奇心に唆られたる當日の人出は三萬と註せられ、或は探梅の令夫人或は女學生にして、藝妓の

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

變裝せる者と誤り捕へられたるものも尠からず、新聞紙は發見者被發見者等をそれ〴〵麗々しく多數の寫眞版入にて揭げ賞讃せるを見る、何等の社會的良心の喪失ぞや。

四月十日東京の都新聞其他に於て、伊東胡蝶園は、平和博覽會出演の日本橋藝妓六十八人を別々に寫眞版にとりて新聞紙一面に陳列し、人目を聳かし、自家白粉の廣告に用ゐたり。

名古屋毎日新聞の報する處によれば、同地松阪警察署にては左の標準によりて藝妓の表彰式を擧げんが爲めに、同下調査中なりとて、一常に營業の目的を忘脫せず孝悌を盡し規則を遵守して未だ曾て一回も處罰を受けたる事なき者。二稼業を勵み樓主に忠順にして節儉を守り前借金返濟の成績良好なるもの。三常に衞生を重んじ疾病罹患少く保健上の成績良好者。といふにあり、果して其擧ぐる第一及第三の如くならんには一日も早く廢業したる者を表彰すべし、第二に至りては正に警察は樓主の下働きに過ぎず。驚く可き表彰もあるもの哉。然るに事は同地に止まらず、曩に松本市に此事あり。高田日報は又報じて曰く直江津町吾妻亭の浪子は大正五年より同亭に勤續せるより功勞を表彰すべく同組合より記念品を送りたるが、尙本縣よりも賞狀を與へらるべし云々と記せり。

大阪市に於ては、酌人の名の下に藝妓類似の稼業をなす者を今回悉く藝妓に昇格したり。爲めに從來幾分內密に行はれたるものも、自然大びらとなりて却つて風俗を亂すに至る有様なるが、こは往年淺草の私娼を公娼たらしめんとしたる失政と同一轍に屬する失政にして、大阪府當局は之に關聯して、藝妓の指定地を、處もあらんに態々住吉公園になしたるより、同地婦人矯風會廓淸會等の一大反對に會ひ、加ふるに同地都市計畫の將來要路たるべき地點なりしを以つて、同方面よりも盛んに反對せられ、最初十二萬坪を指定せんとして、六萬坪を指定し、又々一萬坪に縮少して指定するの醜態を示しつゝあり。飛田遊廓にも懲りずまに大阪府當局の愚や及ぶべからず。

更に過般、高橋內閣の動搖するや、改造問題も遂に打切るの外なきに至り、改造派非改造派の手打の會を築地の某待合に催し、國務大臣は得々として藝妓を其間々に配列して寫眞を撮り、新聞紙に揭けしめ居れり。

上は國務大臣より、良心の麻痺斯の如し、眞に我國の現狀、藝妓ならでは夜の明けぬ有様、うたてくも亦うたてし。

支那の公娼及蓄妾廢止

公娼制度が野蠻不合理の制度なるを力說して、而も未だ幾何の輿論を作り得たるか甚だ心細き有樣なるに、隣邦中華民國に於ては、却つて一足先に江西省の如きは遂に公娼を禁止したり　廣東に於ては猛烈なる廢娼運動行はれ、基督敎靑年會は其中心となり『花柳病論』『廢娼宣言』等のビラを配付し。次に靑年達は一團二團となりて町より町への戶別訪問を始め、我等の廢娼運動に贊成するや如何との直接談判を行ひ贊成すれば直に『本戶贊成廢娼』と赤地に黑く刷出したるものを門戶に貼り步き、遂に四月一日を期して基督敎の學校を悉く網羅したる學生のデモンストレーションを行ひ、嶺南

大學を始め專門學校中學校女學校等參加し、『請願廢娼』の四大字を認めたる横旗を先頭に、四列の行列堂々五千人に及びたりといふ。而して遂に全省の問題となり、廣東政府は三期に廢娼を完了するの案を立つるに至りぬ。其第一期は、今後娼婦となる事を一切許さゞる事、第二期は一定の年齡に達したる者を廢業せしむる事。第三期はかくして一定の年限の後廢娼を完了すべしといふにあり。

曩に大阪朝日新聞の下は如く報ぜり。『香港に於ける蓄妾問題が、英國議會の問題となつてゐるが、廣東政府では、之を禁止するに決し、大理院長徐謙氏は廣東政府政務部に通知して「蓄妾禁止を布告し、違反者に對しては新刑法により處罰することを、西南各省に通告されたし」と。廣東は全國に率先して之を實施し、支那古來よりの惡習慣打破に努めんとしてゐる』云々。

更に五月十四日中央新聞は、湖南省にては五月一日議會招集を行ひたるが、省議會を組織する各議員の選擧は普通選擧にて、女子にも選擧權を與へ居れる旨を報じ、東京日々子は北京に於て、中國廢娼協會なるものの成立したるを報ぜり。

因循姑息なる我國の當局者が、いまだに別項横山氏の報告せらるるが如き態度を持する間に、邦人の輕視する支那に於ては却つて着々に進歩せる施政をなしつゝあり。東洋君子の國よ、五大文明國の一よ、果して如何の顔かある。

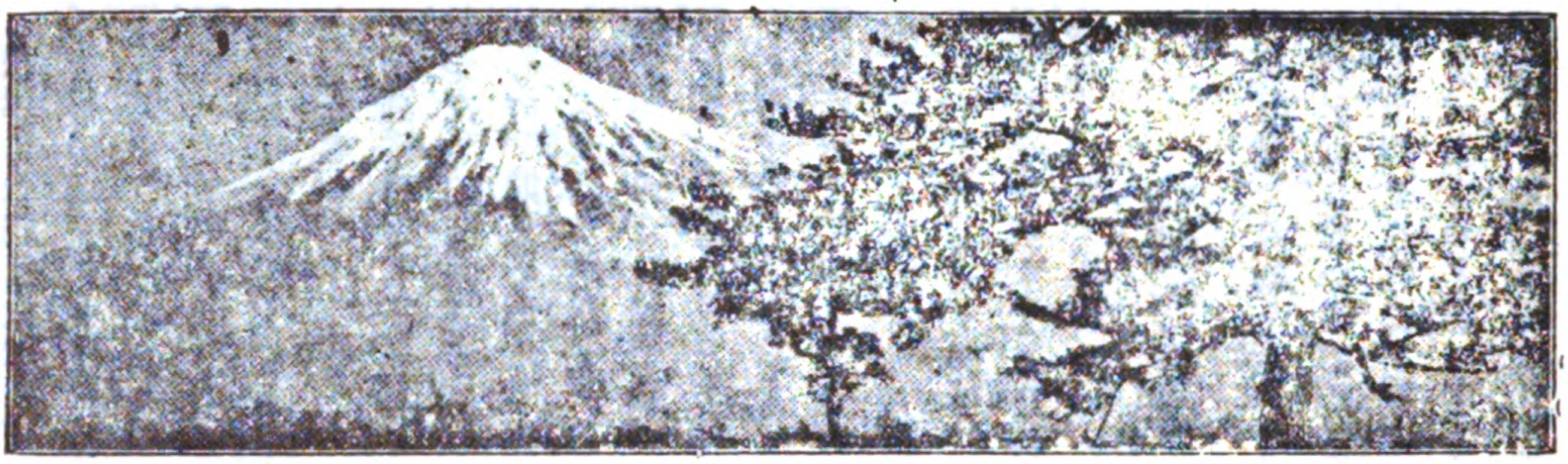
許し難き吉原驅黴院の失態

一 公娼制度が人道上倫理上より一日も存續せしむべからざるは何人も異議なき處なるが、風敎上より見るも公認集娼制度は決して隔離の實を擧げずして却りて風敎を紊るものなる事を漸く近時世人も諒解し來りたるが如し。然るにも不關尙本制度の維持せらるるは、一に衞生上よりして花柳病の蔓延を防止する爲めに必要止むを得ざる制度なりと思惟さるる故なるが、吾人は其檢梅なるものも學說上何等の效果をなさざるものなることを屢し論じ來りたり、且つ之を有效なりとするも、私娼として檢梅すべしと主張し來りたるが、別項瀧原女史の吉原病院に於ける檢梅の實狀斯の如かるべしと迄は想像し得ざりき。全國の模範たる可き吉原にして如斯んば他は推して知る可し、檢查濟の保證をなして、却つて遊客を誤るものは實に此の檢梅なり。當局者は速かに此の實情を調查して、許すべからざる此等の怠慢を取締らざる可からず。

頻々たる敎育家の墮落

社會の儀表たり、世人の活模範たる可き敎育家の墮落は、社會の腐敗を證明する最後の象徵也。試みに最近吾人の手許に報告せられたるものに指を屈せんか、小樽實踐女學校の校長は舍監と私通して墮胎事件を起し、兵庫縣の某小學校長は其敎へ子と鎌倉に驅落して世を騷がし、千葉市の某小學校の首席訓導は藝妓と情死を謀り、巖手縣師範學校に於ては八名の敎師が寄宿舍に於て酒宴を催し、泥醉して女生徒の蒲團を剝ぐやら抱きつくやらの醜態を盡し、熊本市立高等女學校の某敎諭は醉餘同じく寄宿舍に至りて、悲鳴を揚げて逃げ惑ふ女生を追廻し、歸路遂に某橋上より墜落するに至り、更に市內某小學校に於ては女生徒數名を宴席に酌せしめ、或は市內二名の某小學校長は、洲崎遊廓に登樓して無錢遊興をなす等殆んどその破廉恥醜態言語に絕す。此の頻々たる敎育界の墮落は、抑も何の兆ぞ　（江南）

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY



物質の尊尙と風俗の頽廢

廓清會長　島田三郎

◇誤られたる西洋文明の解釋

廓清會は當初男女狀態を改善し其諸問題を解決せんとするのが目的であつた。然るに近時の世の中を觀ると、物欲が餘りに旺盛で精神方面の修養が缺け、延いて風俗の頽廢を來してゐる。吾人の洵に看過し難いものが多々存する。故に一昨年、男女問題に限らず、一般の風俗を改善することを目的の中に附加することとなつた。

實に逆施倒行の世の中である。人間本位でなく物質本位を以て日常生活の依據と爲して居るが故に、慘憺たる結果を呈する。人の人たる所以を忘却し、只管に物欲に趨るからして、面を背けるやうな現象が頻々として出來するのである。其の淵源何處にありや、西洋文明を入るゝに當り、西洋文明とは物質文明の謂であると誤解したことから此の害毒は萌芽したのであつた。西洋文明は物質文明のみならず、精神文明の發達した結果發して物質の燦然たる花を開いたのである、之を思はずして全く精神を忘却して、餘りに浮々した調子で西洋の物質的文明を我に取り入れたのであつた。即ち政治、法律、兵術、經濟の組織を完備しなければ到底西洋に及ばぬ、それには財政を豐にして有形の設備を施さねばならぬといふ考しかなかつた。之れが西洋文明に對する考の全部であつた。

◇詐欺の巧みなる者是れ才子

しかし此の考方から意外の方面に缺陷を生じて來た。心の淸いといふことが文明の根本を成す所以のものであるといふことに思を致さなかつた結果が、折角の物質的有形的の進步した組織に其根本中心に貴い光彩がなく、遂に今日の闇黑な世界が一杯に手を擴げて來たのである。

法律に抵觸しなければ何をしても好いといふ考は不幸にして日本に遍く行き亙つてゐる。道德を考へてゐては物質の取得は望まれないと商人の多數は放言してゐる。人間窮極の繁榮は、正しい心の持方に在ることを彼等は忘れてゐる。目前の利益のみに走り、大局を觀るの明がないから、大成することを得ない。

欺詐に巧みなものが才子であると褒められる。正しい心を持つたものは融通の利かぬものとして愚物扱ひにされる。淺間しい、賤しい世の中だ。法律に背反しなければそれで好いといふ誤れる思想は、人爲的高い位置に在るものに甚だしい傾向がある。これでは亂れた社會は治まるまい。高い位置に在るものが惡いことを行へば、勢ひ大きな惡い結果が生ぜざるを得ない。大きなものが大きな仕事をするのは當然である何々疑獄と稱するものが、高い位置に在るもの〻關係なしには生ずるものでなく、而かも其の疑獄が近來頻々として惹起するのを見ると、吾人は眞に憂ひに堪へないのである。生を社會に享けながら、彼等は社會の生存を脅かしてゐに。當に愧死すべきであらう。

◇醜態を曝露せる昇格問題

風俗斯くの如く紊れつ〻あるに當り、第一に政府當局者の反省を促したいものがある。曩に一千萬圓の御手元金が文部省に下賜せられた。吾人はそれは當然普通敎育費の中に充てらるべきものと思つてゐた。義務敎育を受くべきものが年々に多く、而かも學校が少いので容易に入學することが出來ない。中等學校に至つては入學難の聲が最も高い。洵に天下の患であるが、國費の之れを補助するものが極めて少い。御下賜金の性質として之を普通敎育費に充てるのが當然である。豈圖らんや、政府が之を特別敎育費に充てやうとは、特別の敎育元より貴い。學問に熱心なるものが特別の望で入るものであるからだ。しかし御恩を國民の特別のものに與ふることは根本的に誤つて居りはしないか。普通のものより特別のものに及ぶのが順序であらうと思ふ。果せる哉、之れが禍根を成して、例の昇格案の面倒な問題を惹起した。

當時は戰爭で世間が景氣好く、剩へ御下賜金あり、政府は充分に昇格を實行し得る目算があつた。政友會は例の鐵道網と共に昇格問題を提げて黨勢擴張を圖る所存であつた。中橋文相は、神戸高等商業學校に臨み、來る年度には昇格に要する費用を豫算に編入すると演說した。而かも他縣巡回の序に寄つたのでなく態々臨席したのだとさへ聲明して多くの人人を喜ばせたものであつた衆議院議員市長參事會員等の如き神戸の公人は演說會に招かれて其の演說を聽いて、神戸高商に此の聲明を爲したので、他の學校も引續て我も我もと昇格を願ひ出づる有樣であつた。望み手は斯く多數なのに、金には限があつた。文相は蒔いた種を苅り切れなくなつた。既に昇格に對する準備に着手した神戸高商は今更沙汰止めにされては因ると激怒し出した。世論が沸騰するので、貴族院に於て對論が開かれ、果して約束せしやと文相に詰問した。文相は昇格を云々したことはあるが、約束したことはないと答辯した。卽ち文相は約束を民法商法に規定した契約の如く見た

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

のてある。言葉であるから約束てないとは、爲政家の云ふべきことてあらうか。之れては嘘言の公許てある。契約に非ざれば約束に非ずとすれば天下『信』なし。是れ最も危險なる思想て、政府は實に危險思想の宣傳者てあらねばならぬ。過激社會運動取締法案まて議會に提出した政府が、之れは又何といふ矛盾てあらう。

◇二重橋の爆彈事件

美服を纏ひ、肩書あり、地位ある人のいふことには信用あり、之れ無きものと云ふことには信用がない。悲しむべき現象である。吾人は其の好適例として、二重橋て爆死した藤田留三郎のことを擧げねばならぬ。

抑も藤田なるものは如何なる人物てあるか。斯聞紙上に現はれたところの政府側の批評を見るに、或は一時矯激の感情に驅られて此の擧に出てた狂的人物と做し、他の或者は生活に窮して此の擧に出て、其の憤激を虚榮に寄せたものてあるとの口吻を洩してゐる。彼や果して狂漢か、將た矯激の虚榮者か。此の二評は彼に眞摯なる性格を缺くものとして之を取扱つてゐるが、然し吾人は此等と異つた見解を有してゐるのてある。即ち藤田なるものは、卒直なる憂國の人てあつて近時政界の腐敗、之に伴ふ醜穢の事實、民心倦怠、國威不振を憂ふる熱情家てある。唯其の貧しくして高等な教育を受けざる結果、學識文筆の二つに於ては高き修養なく、且つ其の粗衣を纏つて下等勞働者の列に居る爲め、内に包む眞意を適當な能力と文筆とに依つて現はすことが出來ず、却つて粗衣粗服の爲めに形式に囚はれ物質を重んずる人々から極めて輕視せらるゝの弱點を有してゐた。

然しながら一隻眼を開いて之を見れば、彼は熱情を捧げ、内に藏する憂國慨世の至誠を鮮血に依つて發表したものてあると云ひ得る。何故に斯く云ふや。彼は既に爆彈に點火して火煙が懷より迸出する瞬間に、衛門の歩哨が彼に近づき來るに向つて『爆彈々々、危ぶない〳〵』と叫んて其の近づくのを止めたといふてはないか。此の覺悟――死期に臨んて少しも亂れず、冷靜なる態度を以つて害を人に及ぼさないといふ覺悟は、誠に人性の美點を發揮したものてある。

藤田の此の擧は、之を今日の自己中心主義の人々や、形式に囚はれた人々や、徒に私利を逐ふ人々と同一視することは出來ない。萬一災難が自己の一身に迫り、危機一髮の間際に於て、他人の利害を思ふことが果して此等の人々に見ることが出來やうか。

◇藤田果して狂人なりや

彼の上奏文は、巧みなる文章てはないが、其の言はんと欲するところは極めて明白に現はれ、熱情は文面隨所に躍如としてゐる。世を憂ひ、時を患ふるの精神に滿ち、大略時弊に適中してゐる。

此の文に依つて藤田の爲人を推測するに、彼は所謂新しい人物てはない。又社會主義者てもない。勿論無政府主義とは最も緣の遠い人物てある。而して人を驚かす底の奇想もなく創意もない。寧ろ風俗矯正の希望を有つてゐる保守主義系統

の人物である。併し眞面目の氣象が文面に鮮かに現はれてゐる。されば、藤田は斷じて狂態の人でも將又矯激の人でもないのである。鮮血を濺いで眞意を天闇に訴へんとするものに對して、狂人の名を附するのは、彼に取つて冤罪である。

頃者、床次内相は藤田の上奏文を議會に紹介する演說中に於て、彼は神經過敏狂的人物であり、若くは惡疾を受けて死に近づける人である歟の如くに述べた。併し其の上奏文を見ても、何處に左樣に斷定すべき根據があらうか。床次内相は又曰く本人の意思は一點皇室に對して異志なきは明白である又人に危害を加ふる意思のなかつたことも明白であると。此の時衆議院は拍手を以て之を迎へたことは吾人の親しく目擊したところである。狂人を以て批評するが如きことあれば、其の輕卒を彼藤田に恥ぢねばならぬ。

◇横山正太郎諫死の上奏

彼の取つた態度には縱令非難はあるにせよ、吾人は彼を目するに眞實性を失はぬ人を以てして憚るところがない。憐むべし、彼や貧しく、地位なき爲めに、其の赤心を披露するものがない。甚だしい哉。彼を病的扱ひにしたものは、人もあらうに當路者側の人であらうとは。若し藤田を狂人とするならば、之を往時に求むれば高山彥九郎も狂人であらねばならぬ。之を近時に求むれば田中正造も狂人であらねばならぬ。更に適切に云へば、彼の横山正太郎も亦狂人であらねばならぬ。

横山正太郎は鹿兒島の人、森有禮の實兄であつた。明治三年七月、國事を憂憤して、當時の集議院に意見書を呈し、時弊を痛論し、死を以て極諫すとて自殺を遂げた。院吏之を披いて大いに驚き、彼を追跡して死を止めんとしたが既に及ばず、仍て其の忠死を憐れみ、意見書は必ず適當に處置するから安心して死せよと云つたところが、横山は莞爾として落命したことてある。

横山の意見書の大要に、維新の事未だ成らず、内外憂ふべきもの多々存するに拘らず、有司の風紀頽廢して驕奢逸樂に耽り、人心懈怠せんとするに、更に事を外に構へ、難を朝鮮に起さんとするは國家の運命に取つて痛憂に堪へずとの趣旨であつた。上下此の忠死を憫れみ、事亦、天聽に達し書中記載の誤聞に係る事柄は兎も角、其の志を忠誠なりとし、政府から鹿兒島藩を通じて之に祭粢料を賜つたのであつた。

横山の諫爭の事實果して眞なりや、其の評論果して中れりやは別問題とし、政府が横山の志を憫んで特に祭粢料下賜の手續を執つたことは感ずべきてある。翻つて今回の藤田の擧を見るに、其公にせられたる文は能文でも無い奇警の說でもないが、常識上首肯すべき考慮を忠實に表明した。其精神には敬意を拂ふべきてある。此點に於ては横山と共に憂國の至誠は同じてあるのに、政府側の或者は之に對して其の志に同情せざるのみならず極めて輕蔑の辭を以て評して居る。斯くの如き眞面目な人物の血を濺げる上奏文に對し、何等の感激を示さないのは、之を五十年前に比して、洵に霄壤の差ありと云はねばならぬ。

今若し、美服を纏ひ、高き地位を有するものが藤田の如き

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

擧に出てんか、世論は新奇を競うて之を傳ふるであらう。然も藤田は不幸にして粗衣を纏ひ、勞働者の列に在るが爲めに斯くは輕視せらるゝのである。誠實なる識者は衣服の良否や生活の程度を以て人の高下を論じない。吾人は彼藤田が眞摯の人たることを信じて、彼の境遇を憫れむの情に燃ゆるものである。

子路は粗衣を纏ひ人に接して恥づるなし、と孔子から賞讃せられた。今日今時、事は全く反對である。痛歎に堪へない。

◇責任觀念の缺乏

悲しむべき現象の他の大いなるものは、役人に責任觀念の稀薄になつたことである。

明治神宮の參道が二度破壞した。埋むべき井戸を埋めなかつた爲め、それが陷て公道が後て陷落した。大きな建築物が漏電て燒けても、其の責任の歸するところの明になつた例がない。金の爲めに情實の生ずるものに相違なからうと思ふ。其の顯著なる例の一つは萬國日曜學校の火事である。漏電の爲めの火災であることが明白であるにも拘らず、電氣會社其の責に任ぜず、世人も亦之を責むるものがない。帝國ホテルでは自ら火事を出して置きながら損害賠償の責に任ぜざる旨を第一に聲明した。加之、失火の責任者がない。日本一を以つて自ら任ずる帝國ホテルに恥なきか。皆役人に責任なしてふ觀念の影響するところである。

山口宮中顧問官の令孃の轢死が問題を惹起した。鐵道側では、有識の士の耳にするに堪へないやうな淺間しい手段を以て、彼女の死を自殺であると主張し、責任を免れんとした。彼女が偶々高き地位に在る人の令孃であつたが故に問題となつたのであるが、低き地位に在る人にして斯くの如き不幸に遭遇してゐるもの多々あるべきも、地位低きが故に問題とならないのである。

役人の責任觀念の缺陷は即ち役人社會に此類の危險思想の瀰漫して居ることを示すものである。政府當局者は外來の新しき危險思想を恐れ、過激社會運動取締法案を議會に呈出したくらゐであつた。然も既に形成してゐる危險思想に就いて些かも考慮を用ゆることをしない。一利を起すは一害を除くに如かず、來らんとする害を防ぐ前に、先づ既に釀されたる害を芟除するのが物の順序ではあるまいか。當路者の深き反省を要する。風俗を善良にし、人道を高うすること、是れ時局に處する一大警告である。

總會公告

來る六月二十五日(日)午後二時、神田青年會館に於て廓清會總會相開き申候間萬障御繰合せ奮つて御出席相成度候也

第一部 報告會(二時)　第三部 晩餐會(五時)
第二部 協議會(三時)　第四部 演說會(六時)

追而、詳細は更めて一々御通知可申上候

大正十一年六月一日

廓清會長 島田三郎

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

優種學上より見たる産兒制限

廓清會副會長　安部磯雄

□産兒制限は昔からある

大阪毎日新聞が此頃英字新聞を出してゐる。その最近の記事に面白い問題が報道された。

産兒制限のことが近來事新しく問題の一つの中心になつてゐるが、日本に於ては昔から此事が行はれてゐたのであつて決して外來の思想ではないのだ。サンガー夫人の來朝と相俟つて該問題が特に一般の注意を喚起したに過ぎない。昔から人口問題で苦惱を嘗めてゐた日本が産兒制限に考を向けたことは當然の歸趨である。其の方法は一は墮胎である。二は産婆に委囑し又は自身出生兒の鼻口に紙を貼つて殺害するのである。維新前は盛んに行はれたものであるが、今日に於ては法律の取締が嚴重であるがため減少しては居るものの墮胎、窒息死で法律に問はれるものが決して少いとは謂はれない。しかし之れは常に個人の問題であるが、一村擧つて昔から徹底的に産兒制限を行つて來た村のあるのを最近警察で知つて警戒した事實がある。それを毎日新聞が報道したのである。

それは京都府伊賀國の月ケ瀬に近接した高山村といふのであつて字田山と字高尾に分れてゐる。他との交通が頻繁に行はれて居らぬところである。

産兒制限の原因が何處に存するかは確然とは分明しないが此の地耕地少く域内の所産のみでは多くの人を養へぬところから、昔領治してゐた大名——例の有名な劍道の名人柳生但馬守の息で矢張斯の道の達人であつたが——人民に布達を爲して、家族は小人數に限るべしと嚴命した。多人數の家庭は名主から叱られたものであつた。卽ち村の經濟狀態から産兒制限を爲した。之れが主なる原因であつたらしい。此の傾向は傳統的に傳はつて今日の産兒制限をなして居るものと思はれる。

□一村擧つて制限の結果

高山村は戶數三百六十、人口千六百七十九人の內譯男八百六十八人、女八百十一人であつて、一戶平均四人六分である日本全國の農家の平均人口は六人强であるから高山村の四人六分は非常な小家庭と謂はねばならぬ。

此の村には珍らしい現象が四つある。

(一)全戶三百六十軒中子供三人以上を持つてゐる家庭が僅か四軒きりないこと。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

(二)兄弟姉妹が必ず男、女、男、女といふやうに男女が一人置きになつてゐること。

(三)只の一軒と雖も年子がないこと。

(四)他と比較して學齢兒童の少いこと。

右の何れを見ても産兒制限を想はせないものはない。第二の現象に至つては墮胎でないことは明白で、生れた後に殺害したものである。それでなければ右のやうな見事な順序が現はれるものではない。第三の年子のないといふことも其處に人爲的の何ものかの作用を想像せしむるもの、尤も之れは他の國にも少くない現象で現に四國では間引と稱してゐる。元來密着して生えた苗を引き拔いて疎らにすることを間引といひ、年子の或者を害して間を明けることが恰も其の間引に似てゐるところから斯う呼ばれるに至つたのであらう。

何にせよ、人爲的に働きかける力がなければ、右のうちの一つの現はれてさへも容易に肯定し兼ねるのに、四つの事柄が鮮かにも揃つて現はれてゐることは、産兒制限を證明して餘あらう。

□結果は種々な方面に良好

茲に注意すべきことは——産兒制限を中心として——徴兵檢査の結果である。

大正八年度の適齢者中合格した者が十六人であつた。如何に體格の優秀であるのが想像されやう。大正九年度は適齢者十九人中合格者十四人、大正十年度は適齢者十四人中合格者十一人を出してゐる。大正八年度ほどの好成績ではないが、他には比類のない優秀な成績である。

小學校の成績も亦頗る良好であつて、他の學校とは非常なる相違である。

しかし之れは決して不思議なことではない。不思議と思ふのは無學を表明することである。惟ふに斯かる産兒制限を用ゐて斯かる結果を擧げることは果して適當なことであらうか高山村の産兒制限法は決して徹底的なものではない。産兒制限と云つても兎に角一度は産むのであるから母體の弱ることは爭はれない事實である。優種學の立場からすれば思ふほどの好結果を得たものとは云はれない。而も、母體を害してゐるにも拘らず述上の如き好結果を得てゐる所以のものは何であらうか。それは乳を與ふべきものを與へないで濟むから此のやうな好結果が得られるのである。

兎に角、不完全な産兒制限が結果にして猶且つ斯くの如しとすれば、若し親が子を生まないで濟むことになれば其の效果は更に大なるものがあるべきは疑を容れない。卽ちもつと徹底的な方法を採用したならば、もつと優秀な子を得ることが出來る。

□自然論者と禁欲論者

産兒制限に關しては世上賛否相岐れてゐる。反對論の一致點は産兒制限は自然に逆ふといふことである。之れは譯なしに起るところの考で、男女の結合により子の生れるのは自然の行き方であり、神が子を授けるのであるから、制限すれば自然に反するといふのである。一寸聞くとさう思はれる。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

サンガー夫人が過日帝國ホテルに於ける有志の演説會での席上初めて語つたことには味ふべきものがあつた。曰く「産兒制限は今に始まつたことではない。人間の存在と同時に始まつたのであつた。自然の儘に放置すれば自然は必ず産兒を制限する。自然の行ふ産兒制限は極めて慘酷である。即ちマルサスの所謂戰爭、疫病、餓死等である。斯くの如き慘酷なる手段に比すれば人爲的の産兒制限は極めて人道的で道理に適つてゐて、宜しく自然に先立つて人間が行ふべきである」云々。

由來人間は餘りに自然を尊重し過ぎることはないか。人間は左程自然に服從してはゐない。若し自然を極端に尊敬すれば人爲といふことは絶對に許されない。或人のいふには問題を簡單に解決するには禁欲に如くはないではないかと。しかし禁欲が果して自然であらうか。絶對に禁欲することが果して自然であらうか。性欲は自然の與ふるところである。禁欲を以て産兒制限を行ふことを潔白であるといふが、焉んぞ知らん、それは自然に逆つた行爲であるのだ、自然に逆ふといふ點に至つては、人爲的に産兒を制限するのと異るところはない。

□聰明を誇る人類の恥辱

惟ふに自然を導く必要はあるが、服從する義務はない。自然に服從するのが運命ではない。否吾人は漸次自然を征服してゐるではないか。しかし根本から自然に逆ふことは間違つてゐる。以上のことからして自然の制限に優る人道的産兒制限を行ふことが必要である。

産兒制限は優種學上から優良なる子孫を得る爲めのみならず、社會人類の爲め其の子孫を遺されては困る人々に取つて必要である。遺傳する疾病の所有者は、産兒制限に依つて害毒を其人限りに止めなければ、好い社會が出來ない。外國ては或種類の人に結婚を禁じて居るところがあり、又本人が承諾すれば、醫者が手術を行ひ子孫を殘すことが出來ないやうにしてゐるところがある。

産兒制限が徹底的に行はれ人道的で害なしとすれば之れを禁ずるの理由は少しもない。如何に遺傳的體質の所有者があらうとも、是等の人々から結婚する權利を取上げてしまうのは殘酷の甚だしいもので、子を生まぬ方法を知つて居るなら結婚を許すのは人道に適つたところと云はねばならぬ。

産兒制限は積極、消極兩方面からして人類全體を立派にして行くのに缺くべからざるものである。動物にしろ、植物にしろ、自然の儘に放置したなら如何なる結果を見たてあらうか。種の撰擇を行つた結果、今日の良好なる結果が得られたのである。人類自分自身に之れを行はないのは、自分自身を愚にしたもので、聰明を誇る人類の恥辱である。

◎雛妓連の禁酒マーク

廣島縣の吳市では、警察署長が先になつて、雛妓百廿二名に必ず胸間に『禁酒』と記した徑一寸の徽章を附せしむることになつた。定めし道樂者連中も是には辟易して、折角の酒がまづいとこぼしてゐることだらう。

尙本所區の署長は禁酒家で鋭意禁酒の宣傳をして居つたが、五月廿六日鶴田某といふ十九になる少年の飲酒を發見し、未成年者飲酒取締法第一條第二項に依つて一件書類を當局に送つた。之が恐らく最初の違反であらう。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

藝娼妓諸子の爲めに

——自由廢業新判例の解說——

辯護士　布施辰治

一

動もすれば人權蹂躙の物議を醸す官僚氣質の裁判官として今回新たに藝娼妓の人權を尊重した、廢業自由の英斷を下さしめた事は、常に人權の擁護を叫んで止まざる解放運動の勝利である。

二

恐らく今後の運動は、女性の最も人間的な機能を最も非人間的に働かせられて居るのが、所謂藝娼妓稼業契約なのであるから、人間性の向上と保護とを目的とする國家の法律は、有產の強者が、無產の弱者を虐ぐる藝娼妓稼業契約の一切を積極的に、禁止する處迄進むであらうが、今回裁判所で藝妓の稼業契約を無效とした、法律明文の根據と爲つた、民法第九十條に「公の秩序又は善良の風俗に反する事項を目的とする法律行爲は無效とす」と云ふ規定は「當事者平等」「契約自由」の原則に對する社會的制限の例外であつて、經濟的不平等の有產者無產者間に締結せらるゝ契約は、事實上自由であり得る譯が無い、卽ち有產者の強者が、無產者の弱者を壓迫して背に腹を替へられない、苦し紛れの苦しさを深水に引込む契約は、如何に御互が實印を捺し合つた契約だからと云ふても、當事者の自由に任せて置く譯には行かないと云ふのが其の趣意である。故に有產の強者が背に腹は替へられない窮迫無產の弱者を壓迫して、女性の最も人間的な機能を非人間的に働かせる藝娼妓稼業契約の實行が、一種の社會心理である所の民衆感情を不快ならしむるものであつたら、左樣した社會心理や、民衆感情に反する事項を目的とした藝娼妓の稼業契約が、所謂公の秩序又は善良の風俗に反する契約なりとして當然無效に爲る結果、人權の尊重に目覺めた藝娼妓の廢業が自由な譯なのである。

三

其處で、更らに問題と爲るのは、左樣した公序良俗に反する藝娼妓の稼業契約が無效に爲つたら、所謂身代の前借金は果してどう爲るかと云ふ疑問であるが、民法第七百八條に「不法の原因の爲め給付を爲したる者は其給付したるものゝ返還を請求することを得ず、但不法の原因が受益者に付てのみ存したるときは此限に在らず」と云ふ規定があるから、少しも心配はない、卽ち契約が無效だとすれば、藝娼妓の稼業を目的として貸した前借の契約も又當然無效でなければならない。從つて契約が有效に成立つて居ればこそ、契約の內容

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

通りな返済方法も期限もある譯であるが、既に契約其のものが無效だとすれば、所謂身代金を前借する譯も無ければ、其の返済方法に就ても亦、期限のある譯が無いと云ふので、公序良俗に反する藝娼妓稼業の無效を主張して、自由に廢業する本人は勿論、親兄弟等の保證人に對して身代前借金の即時全部拂を要求して來るのが是れ迄の例で、非道い威嚇手段を用ゆるものは、實質の無效な契約である丈け、其の形式を嚴重にして置く公正證書に基いて、直ちに强制執行を行つて來たものである。そして大概の藝娼妓當人は勿論、法律に暗い親兄弟等の保證人は此の嚇かしに參つて仕度ふ、又ナマ半可・の常識論者は、弱い者苛じめの契約が無效に爲つても、前借した身代金丈けは返すのが相當で、前借金の返せないものは矢張り如何に辛らくとも、身の不遇を諦めて、一旦取り結んだ契約に從はねば爲るまいと云ふ、弱い諦らめ主義を敎へるのであるが、民法第七百八條の規定は、民法第九十條の規定と相俟つて、公序良俗に反した契約を民衆感情の上から之を無效にして、弱者を救済すると同時に、經濟關係の上からも又、之を救済する事にして居るのである。

四

即ち不法の原因の爲め給付したる金錢と云ふのは、紙幣僞造の爲に資本を出したとか、人殺しを手傳へさせる爲に金を貸したとか、或は姦通する約束の下に金を貰つたと云ふ樣な場合は、左樣した紙幣僞造や、人殺しの手傳は、固より公序良俗に反すると云ふ理由で、紙幣僞造の請負や、人殺し手傳の請負や、姦通する契約が當然無效であつても、其の爲に出した金を返さなければ爲らないと云ふ事に爲ると、どうせ背に腹を替へられない金に困つた窮迫無產の弱者が、左樣した契約を有產の强者に强制せらたのであるから、どうしても金も返さなければならないと云ふ事になると、憐むべき無產の弱者が、法律上から云へば、無效な反公序良俗の契約を事實上履行させられる事に爲る恐れがあるので、不法の原因の爲に給付せられた金錢は、全然返すに及ばない、又貸した者に取る權利を與へないと云ふのが同條の趣意なのである。但し左樣した不法の原因が、前借した者の詐欺かなんかであつて、貸した者が正當であれば固より左樣は行かないが、藝娼妓稼業契約の場合は、有產の强者が無產の弱者に不法な反公序良俗の醜行を强ゆるのだから、餘りに非道い醜行を强ゆる自由拘束の藝娼妓稼業契約は、當然民法第七百八條の適用を受ける事に爲るので、眞に人權の尊重に自覺した藝娼妓の廢業は、法律上からは勿論自由で、又經濟上からも前借金を返すに及ばないと云ふ一新例を示されたのが今回の新判決である。

司法省布達 第二十二號（明治五年十月九日）

本月二日太政官第二百九十五號に而被仰出候次第に付き左の件々可相心得事。

一 人身を賣買するは古來制禁の處年期奉公等種々の名目を以て其實賣買同樣の所業に至るに付娼妓藝妓等雇人の資本金は贓金と看做す故に右より苦情を唱ふる者は取糺しの上其金の全額を可取上事。

一 同上娼妓藝妓は人身の權利を失ふ者にて牛馬に異ならず、人より馬に物の返辨を求むるの理なし。故に從來同上の娼妓藝妓へ貸す所の金銀並に賣掛滯金等一切債るべからざる事、但し本月二日以來の分は此限にあらず。

一 人の子女を金談上より養女の面目になし娼妓藝妓の所業をなさしむる者は其實際上卽ち人身賣買に付從前今後可及嚴重之所罰事。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

公娼に對する政府の態度

衆議院議員
辯護士　横山勝太郎

□婦人参政と公娼問題

公娼廢止は人道に關する問題である。之れを人道問題として解決することに付き、宗教家等專門の人々に放任して、他に學問あり經驗あるものが指を染むることをしないのは不當であり。吾人の遺憾とするところである。今や婦人参政問題の聲漸く大きく、澎湃として此の日本を席捲せんとする情勢に在る。婦人參政問題とは何ぞや、根柢を流るゝところのものは目醒めたる人類としての取扱を受けん欲求であり。解放の要求である。美裝せる奴隷として人生の深淵に沈み。辱しめの束縛に泣く娼妓をして白晝公然輝く陽の光りを仰がしむることも亦婦人の解放であらねばならぬ。婦人參政の聲が人心を呼んでゐるに反し、公娼廢止の聲の多く人に顧みられないのは何うした譯であらう。治安警察法第五條が今期議會に於て撤廢され、婦人參政運動は其の第一歩を確立した、然るに帝國議會は憲法政治の運用に參與すること三十年、未だ嘗て公娼問題に言議を觸れたことがない。何といふ頼り氣ないことであらう。

公娼問題を憂ふるものは之れが廢止を議會に請願した。併しながら今日の請願なるものは只形式一片なものであつて、其の效力に至つては反古紙も同樣であることを考へねばならぬ。請願委員會を開き採擇すべきや否やを決してゐるが、假令採擇せられてもそれは微力なものであつて、容易に議會の勢力を動かすものではない。例へば義務教育國庫支辨問題に就いて見るが好い。今日まで七八年請願せられてゐるが。政府は之れに注目を與へることはない。斯くの如き情勢であるから公娼問題の如きは請願委員會の採擇を得ても政府は容易に考慮を拂ふものではないのである。

□遊廓業者に援助せらるゝ議員

公娼制度の憂ふべき制度であることを歎ずるものが議員の中にもあるであらう。而も默して一語も之れが廢止を口にせざるものは何か。議員中に貸座敷業者の援助を藉りて出てゐるものゝ少からざることも其の原因の中の大きなものゝ一つであらう。義理の前には頭の上がらないのが世の習はしてある。吾人が初めて公娼廢止問題を提げて政府當局に對し質問したところ、吉原其の他の遊廓から、生命が惜しくなければやれといふやうな脅迫狀が舞ひ込んだ。斯樣な脅迫は吾人に

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

取つては何等效力を生ずるものではないが、しかし多數議員中には脅威を感ずるものがないとは斷言出來ない。獨り當業者のみならず、關係商人輩からも脅迫が來た。當業者は兎に角現在の職業に依つて現在の生計を立てゝゐるのであるから、謂はゞ生死の問題であつて、脅迫がましい態度に出づることは一面から云へば無理からぬことであり幾分の同情に價せぬではないが、關係商人の如きは餘分の利得を斯かる醜怪なる方面に求めてゐるのであつて、少しも同情すべき點なく彼等の脅迫こそ眞に憎むべき性質のものである。

斯くの如く、醜業者の援助に依つて議員たる地位を獲得したものが公然聲を大にして醜制度の廢止を叫ぶ意氣のないことは睹易い道理であるが、又斯うした弱點を持つところの議員の多數に依り擁護せられてゐる現政府が強硬なる態度に出て醜惡なる制度を廢止することの出來ぬのは當然である。此の問題に關し當面の內務大臣を始め其の他の國務大臣に何等の考へなく、智識の見るべきものがない。斯るが故に政府は一度も此の問題に觸れたことがないのである。

□議會の形勢と內閣の意嚮

議員皆口を閉して一言も公娼問題に觸れず、人道に重大なる問題が天下の議政壇上に論議されたことのないといふのは帝國議會の耻辱であり、亦議員の恥辱である。吾人の良心は今や默することを許さなくなつた。吾人は公娼問題に關して專門的智識を有するものではない。しかし吾人は此の問題を暗黒の裡に葬ることに忍びないのである。そこで大正の三年に初めて此の問題を提げて議會の壇上に立つた。請願委員會に於ては勿論幾回となく之れを問題としたのである。爾來人權蹂躙、都市計劃等の問題ある毎に必ず之れに關連して公娼問題に關する質問を試みる機會を逃すことはなかつた。之れに對する政府の答辯如何と云へば、公娼を廢止することは出來ぬ。遊廓の改善は圖らうといふのであつた。しかし吾人は改善の意味を解するに苦しむ。遊廓を打ち壞すのか。もつと建築を立派にし、女を多くするの意味であるか、それとも增大するのか、政府は復之れに答へて曰く取締を完全にし、病毒の感染を防止するの意であると、何といふ抽象的な答辯であらう。捕捉するところに苦しまざるを得ないではないか。故に吾人は斯かる不安な答辯に滿足出來るものではない。

今回の議會には建議案を提出したのである。

一、公娼は廢止し得るや。二、廢止し得ずとすれば如何に制度を改善するやといふのが、其の內容であつた。委員會は直ちに開かれ。討議に附せられた。松田源治君が專ら答辯の任に當つたのであつたが、君は其の智識なく到底吾人の滿足する答辯は與へられなかつた。流石に政友會の議員中にも此の建議案に反對するものなく却つて統計まで掲げて公娼制度に反對の意見を述べたものすらあつた。之れに對しては政府も窮して答辯を避け、形勢非なりと見て爾後委員會を開かず、遂に該案を握り潰してしまつた。良心なき現內閣の下に在つては何を云つても無駄である。高橋是清を總理とし床次竹二郎を內相とする現內閣が交迭しない以上、公娼問題に光明は與へられないであらう。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

□娼妓の自由意志に就て

公娼問題は洵に人道問題である。しかし吾人が公娼廢止を唱へたのは人道論の見地からではない。初めて議會の問題にしたのは人權擁護の立場からであつた。然らば人權擁護の見地からして何故に公娼制度は廢止さるべからざるものであるか。

今日全國五萬の娼妓は相當の待遇を受けてゐる如く見えるけれどもそれは表面上のことであつて裏面に至つては暗黒慘鼻の世界に彼等は呻吟してゐるのである。

之れを法律上より見ると、親權者又は後見人の承諾を得、本人の自由意思に出づることを要するとあり。表面は如何にも法律上の自由を得て居る如くに體裁がつくられてある。しかし種々な事件で裁判上の問題となることの頗る多いことは抑も何を物語るものであらう。表面は成程本人の自由意思に基いて娼妓たることを許可せられるのであるが、事實は必ずしも然らず。或は親兄弟の強迫を受け、或は略取誘拐せられて苦の世界に身を沈めることが多い。警察君の前では自由意思から成るものゝやうに說明するが、警察官の前に出づる前に既に強迫を受けてゐるのであつて、警察官への說明は事實強迫に因る意思表示であり。法律上完全なものとは云へない。國民の擁護者たる地位を失念してゐる我が日本の警察官は形式的に表面のみを調査して、事の茲に出でたる眞相を究明しやうとはしないから、彼等は遂に救はるる機會を失つて塗炭の苦しみに泣かねばならぬことになる。官憲の壓迫に因つて自由を失へるものとは云へないが、少くとも官憲の見當違ひから彼等は其の自由を失つてゐるものと云ひ得る。兎に角憲法上の自由を失つてゐることは疑ひもなき事實である。

□人權擁護の法曹に恥ありや

數ある娼妓の中には其の自由意思から成つてゐるものもあるであらう。縱令自由意思から成つても、塗炭の苦しみに驚いて廢業したいと思ふものの多からうことは想像に難くないそこで彼等は自由廢業を思ふであらう。自由廢業は法令の上では直ちに許可することになつてゐるが、實際は許可しない自由廢業が許可されずとすれば次に彼等の考へるところのものは逃亡であらう。彼等はそれを實行する、行衞不明になれば警察も仕方がないから始めて名簿の削除を行ふ。ところが地方へ行くと却々削除さへも爲さぬことが多いといふ。彼等の多くは貧民の女であるから無智であり、法律上の自由、憲法上の自由を自覺しない。故に折角逃亡しても樓主に捕へられ、みす〳〵再勤するものが多い。所詮は何處までも呪はれたる人生である。

娼妓の地位といふものは述上の如く惠まれざることの甚だしいものである。斯うした狀態に唯の一人でも不本意なから居るものがあつたとしても、人權擁護の立場から之れが救濟を叫ばなければならぬのに、彼等の大部分がそれであるに至つては吾人の血は豈正義の爲めに沸へ返らざるを得ないではないか。

人權擁護の聲が盛んに在野法曹の間に叫ばれてゐるが、そ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

れは金のある人、地位のある人のための人權擁護である。第四階級、第五階級の人々が如何なる取扱ひを警官から受けてゐるかを眞に憂ひ、心から調査してゐる法曹が幾人居るてあらう。そして之れ等の人々の爲めに人權擁護を叫ぶものが果して幾人居るのであらう。吾人は悲しみを以て、此のことを思ひ、眼中の熱さを覺える。噫、人權擁護の職責を持つ法曹に恥ありや。

□生きんが爲の娼婦と節を賣る男

今日の議員、政治家、法曹と而して政府を恃んで公娼の全廢は期し得ない。故に此の問題は或る程度まで放任し、娼妓をして自由意思を以て稼業に就かしむることを圖るより外は途はない。

全く、自己の良心に問へば斯うした醜業に從事することは忍び難いにせよ生きんが爲めには止むを得ざる場合があり、斯業に服することが生きんが爲めの唯一の道であるときは如何に强大なる官憲の力を以つてしても廢止は出來得ないてあらう。故に一婦人あり、生活の唯一の方法が娼妓になることにあるのであつたなら官憲は之れに許可を與へるがよい。而して之れに麵麭を與へねばならぬ。人間の生存を承認してゐる國家は之れを阻む必要がない。單に節操を賣るの一事を以つて云爲するならば、男子も亦攻擊の矢面に立たねばならぬ場合が多からう。賄賂を取つて節操を賣り天下の耳目を聳動した事件が最近少からず起つた。節操の切賣をするの點に至つては醜業に從事する婦人と何の選ぶところがあるか、否、婦人は實に止むを得ず其の節操を賣るのであつて同情に價する點あるに反し、男子に在つては利慾に走つて節操を賣るのるてあから毫も同情すべき點なく、罪は男子に重いとせざるを得ない。

□樓主の利權は贓物に等し

然り、公娼制度は或る程度まで之れを放任せざるを得ない目下の狀態であるとしたなら、如何なる按配に放任すべきか社會政策上極めて重大な問題であつて、吾人は之れに對し今日の遊廓は直ちに打ち毀せと答へるものである。實際、帝都の眞中に吉原と稱する不夜城の如き一廓がある、來遊の外國人は必ず杖を此處に曳いてお國へのお土產話しにするくらゐてある。恥を國內のみでは曝し足らず、之れを國外にまでさらけ出すに至つては、吾人は穴にも入りたい心地がする。

あの醜き業務の司をする樓主なるものが無智にして弱き婦人の膏血を絞つて美しき家に住み、美しき服を纏ひ美しき肴を口にして居ることは到底吾人の默認し得ないところである良民が質素に生活を營んでゐるのに、これはまた何といふ良心なき、傍若無人の態度であらう。少くとも機會均等の意味からしても斯くの如き予盾に反對せざるを得ない。

遊廓破壞に反對を唱へるものは「打ち毀すのはよいが一體彼等營業主の作り上げた財產をどうしてやるのだ。娼妓一人平均千五十圓（吉原）はかゝつてゐる。それにあの樓の建築費が僅少なものではない。之れ等に對する擔保權者もあり。無暗に破壞することは餘りに無慈悲な行爲ではないか」と云

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ふ。一應尤もなことである。されど同胞たる弱い婦人を牢獄に投ずると同然の人權の束縛を加へ之れを拘禁し、二六時中否四六時中醜業に從事せしめ、少くとも一日三四人の異性に身體を提供せしめて其の健康を破壞し、斯くの如くして得た處の數萬の金は、其の性質に於て全く是れ贓物ではないか贓物を國家の權力を以つて破毀することは何等怪しむべきものではない。

明治の初年、娼妓の身代金のことに關する司法省の達に娼妓は牛馬同樣であつて、牛馬に貸した金は取るに由がない。樓主の得たる金は贓物である」といふ旨が記されてある娼妓を牛馬同樣に看做した點は甚だ不當であるが、痛快極りない達てはないか。遊廓制度を破壞するに當つて、財產權を損毀することがあつてもそれは積惡の酬ゐであると樓主等は斷念めるがよろしからう。

□奴隷を大東京より解放せよ

婦人參政の要求が近來却々力强い聲を以つて叫ばれてゐる同じく人として機會は均等であらねばならぬといふ其の要求は正しい基點に立つてゐるものである。しかし。一利を起すは一害を除くにしかず、婦人に權能を與ふるよりも、喪はれた婦人の權能があつたなら之れを復活することの方が先決問題ではないか。全國五萬の娼妓、彼等は人類の最も貴ぶべき自由の權能を奪はれてゐる。日本婦人に參政權のないのは恥かしいことである。しかし猶ほ忍ぶべし、五萬の奴隷をどうするのか。噫、彼等に自由を與へよ。彼は既に最も大きな試練に耐へて來た。双手を擴げて最早陽の光りを仰いでもよからう。それには先づ奴隷を養ふ手頃な場所を破壞することだ之れを壞したなら、奴隷を養ひたいにも養ふことが出來ない。人間の生活と、かけ離れた娼妓を大東京の中に麗々と置き、奴隷とは斯くの如きものであると、大道の見世物のやうに見せ散らして置くのが第一市民には恥かしくないのか。

吾人は嘗に公娼の全廢は當分不可能であるから、或程度まてこれを放任せよと云つた。それには吉原の如き麗々たる一見して遊興の巷であると分るやうな遊廓は之れを破壞し、散娼制にするに如くはない。卽ち普通の生活とかけ離れた生活から放任し如何なる職業を營む家であるか一見分らぬやうにするが好い。今日のやうに金さへ持つて居れば殆んど何等の困難なしに目的地に到達して春を購ふことが出來るが如きは如何に國家の認めた賣春婦であつても少し露骨過ぎはしないかと思ふ。

そして一旦公娼となるにしても、それは本人の自由、又止めることも本人の自由とすることを再三力說したい。均しく立憲法治國の民であるが故に、憲法上の自由、法律上の自由を與ふべきことは、實に何よりも先に考へねばならぬ問題である。

斯くして現實の問題は現實に解決するのが急務であり、一氣に全廢するとを得ない公娼制度を人權擁護の立場から、又社會政策の立場から善良なる傾向に導くのが適當の處置と稱するを得やう。（廓淸會講演）

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

我國に於ける婦人運動の倫理的考察

文學博士　藤井健治郎

一

明治四十年代以後大正期に入つてからの日本に於ける婦人運動は之を明治初年代のそれに比ぶれば隨分進步したものである。明治の初年代海外遊學などは男子にさへ難しと考へられてゐた時に幼弱な婦女子の身を以て、萬里の波濤を冒して遠く北米合衆國に渡り、彼地の文物を習學した方々もあり、又自由民權論の喧しかつた明治の十年代には男子と一乘になつて政治を談じ、同時に女子をも家庭から社會及國家に解放して男子と同樣に政治に與らしめやうとした福田、影山女史一派の運動などもあつたり、斯んな風て「開國進取」といふ大きな團扇て煽られた明治國民の若い精神は、婦人の解放といふことに就いてもかうした氣勢を示したものである。若し何處までも彼の勢ひて進んだなら、我が日本婦人は第十六世紀頃から一足飛びに、第十九世紀の後半に於ける西洋婦人の蹤を追ふことにもなつたてあらう。しかし何といつても一般に特に女子の教育が普及もせず、又進步もせず。一般民衆は「文明開化」といふ言葉や、「自由民權」といふ言葉は、耳にたこのよるほど聞いては居れどそは單に言葉だけてあつて、其眞の意味は之を辨へて居らず、實は今日々々無事に飯を食べていくことが出來さへすれば、それて大滿足なのであつて文明開化や自由民權などは、どうならうと關せず焉の狀態にあつたのであつた。こんな有樣てあつたから、音頭取ばかり聲を嗄らてし叫んだ處て、いはゞ石地藏に號令してゐるやうなものであつた。それに加へて十年代末から二十年代に起つた反動的保守思想の爲に、一般に進步主義の氣勢が挫折されてしまつたが、特に婦人運動の如きは息の根が止まつたかと思はれる程、沈默せしめられてしまつた。

しかし一度播かれた種子は、時が來れば必ず其芽を萠き出さずにはゐない。明治の初年代から沙漠に於けるオーセスのやうに、全國のあちらこちらにまばらに散在してゐた公立の女學校や、女子のミッション・スクールなどは、二十年代の末から三十年代に入つて段々發達もし、數も增へ、而して其勢ひが年を逐うて盛になり、四十年代から今大正期に入つてからは女子の教育は更に長足の進步をなし之を二十年代以前に比すれば實に隔世の感があるやうになつた。それが爲に婦人界も年一年と活氣づき又一般の自覺も高まり、その活動範圍も社會的に又國家的に漸次擴大され、又立派な創作や、評

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

論や對策やがどし〳〵女子其人々の間から生れて來るやうになり。十年代に男尊女卑の陋風を改めねばならぬとて、重に基督教徒から絶叫された男女同權の議論などに比べて見ると四十年代以後に發表された女子の評論や論文は、實に立派な而して却々深い意味を有つてゐるものである。舞臺上のマグダやノラに一部の教育者や親達の物議の種となつたこともあつたが、それは眞ンの一時的なものであつて、今日の日本には既にもう幾人かのパンカーストやエレン・カイが輩出してゐる、時勢の進歩變化、實に驚くべきものがある。

かやうに明治大正時代に於ける、我邦の婦人運動は、明治の初年代や十年代のそれに比ぶれば實に進歩して來たものであるが。今其問題又は目的に就て見るに、それは二つに、區別されて見える。第一は家庭内に於ける婦人の位置の向上であつて、第二は婦人の社會への解放である。十年代に盛であつた男女同權論は、第一の問題について先づ掲げられた狼煙であつた。當時の男女同權論は、題目は男女同權論といふ廣いものであつたが而して中には政治上の權利について論じた者などもあり、またその運動なども少なくはなかつたが、しかしその要旨としてゐた所のものは、男子の專横、亂行を抑へ、女子の自卑、屈從を揚げ、家庭内に於いて夫と妻とを可成對等の地位に立たしめやうといふのであつた。次に三十年代の末から四十年代それから、今大正期に亘つての婦人の社會運動、並にその高等教育運動は是がやがて婦人運動の第二の問題であつた。

以上は最近の日本に於ける婦人運動の一瞥であるが、かやうに我が婦人運動は二つの問題若しくは目的を有つてゐるが故に、之が評論を試みるに當つては、自然その各問題について別々に考察することが便宜である。先づ第一の問題から考察しやう。

二

男女同權論の喧ましかつた十年代のそれに比較すれば流石に今日の家庭は一般的について遙に淨かなものになり、公平なものになり、又婦人の位置も高められてゐる。しかしそれかといつて、男子の專横亂行が全く己み、女子の自卑屈從が悉く消えてしまつたかといへば、中々そんなものでなく、今日の家庭は依然として猶男子擅制の王國であり。女子枉屈の場所である、私は今それ等の事實を記述するの責任があるけれども、しかし、それ等は讀者各位の誰方にも分つてゐる明白な事であるから、省略することゝする。たゞかういふ譯であるから吾等は今猶依然として、國民的文化生活の名に於いて、今日の家庭の改造を要望せざるを得ないのである。

男女同權論時代から彼此四十年程にもなり、半世紀近い程の長歳月を經過してゐながら、家庭に於ける女子の位置がその割に向上してゐないのは、抑も如何なる原因によるものであらうか。先づ其原因からして究めなければならぬ。其改造案の如きは、その原因が分りさへすれば自然に出て來るのである。

そこで其原因を探つて觀ると、種々澤山あるやうだか、私は此に其重なる者として、唯二つだけを擧げやう。曰く、教

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

育の不進歩、曰く家制是である。

第一の原因たる教育の不進歩とは如何なる事を指すのであるかなれば、前節に述べたやうに、此處二十四五年が間に、女子の教育は以前から觀れば、長足の進歩もし、普及もした事は事實である。今日の家庭の昔日のそれに比べて淸いものになり、高いものになつたのも、其重なる原因の一は教育の普及進歩である。しかしそれは其前時代のそれに比較してのことであつて、之を同時代の男子のそれに比較すると、其程度に於いても、又其普及に於いても固より同日の論でない。國家は初めから大學といふものを設けて居たけれども、それは男子にのみ開かれた大學であつて、女子には全く鎖されたるものであつた。而して其扉は今猶依然として女子に對して固く閉ぢられてゐる。原內閣は四千萬圓以上の大金をかけて高等教育機關の急完成を企てたが、それはすべてが男子のそれであつて、女子は夫に與らされない。全國には現在四十有餘の國立高等專門學校があるが此中で特に女子の學校として設立された東京と奈良の女子高等師範學校を除いては、女子の入學し得る學校が幾つもない。いや僅に東京音樂學校一校とは實に情ない事でないか。東京美術學校も愈々女子入學を許すとかいふ噂はあるがまだ確定した事實になつてゐない）斯やうに女子教育は以前から觀れば大に進歩したとはいへ、之を男子のそれに比べれば實に情ない有樣であつて、我が邦の教育は此點に於て甚だ偏頗なものたるを免れない。

かやうに偏頗な教育制度は、一般的にいつて、男女の智識識見の上に著しい懸隔を生ずる事になり、而して其懸隔してゐる智識、識見に、實際生活上優秀な男子に有利の位置を與へ、狹劣な女子を不利の地に陷らしめて自然男女の位置に懸隔を生ぜしめ、女子をして頭の上りつこのないやうにならしめる。かうした譯で教育の劣つてゐることは女子に非常に不利益なことであるから、家庭に於ける女子の位置を向上せしめんとならば、必ず女子にも十分な學習自由の權利を與へねばならぬ。是は女子の位置が兎に角今日の程度にまでも進んで來たのは、一つは高等女學校の教育普及進歩に因ること多きを思へば、確に間違のない考へである。

但女子の高等教育の事に就いては、世間に種々の考へもあり。又それは婦人運動の第二の問題にも關係してゐることであるから、私は後節に於いて、更に此點について論ずる積りてある。

三

次に第二の原因、卽ち家制に就て說明して見やう。

私は此機會に於いて先づ家制といふ語からして說明してかからねばならぬが、私は先年來からかうした語を用ひるが、世間ではまだあまり此語を用ひて吳れぬ。私が家制といふことをば、世間では普通「家族制」といつてゐる。しかし家族制では意味が甚だ曖昧である。家族制は家――族制、卽ち「家」族制の意と、又は家族――制、卽ち「家族」制の意と此二の意味に解せられる。前者は「家」といふものを族制の一種であると觀てゐる意味である。卽ち族制には種々の形又は型式がある。我邦だけについていつても、其處に種々の族

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

制のあつたことは、史乘に明かなことであるが、その種々ある族制中の一の形として、「家」といふ族制があるといふ意味に説いてゐるのである。此意味ならば、家族制といふ語義が實に判然として居つて、確に一つの專門語たり得る。

第の二「家族」制卽ち家族——制といふのは如何なる意味であらうか。家族といふ語は家に屬する各員を、或はディストウリビユチヴリーに、或はコレクチヴイリチーに言ひ表はす所の言葉である。從つてそれは大にしては氏制にも、小にしては夫婦制にも、家族に於けると同樣に使用され得る所の言葉である。さればさうした意味の形式、又は型といふことは、何等の意味をもなさない。つまり「家族制」といふことは、專門語として考へて觀ると、實は何等の意味をもなし得ないのである。

以上の譯であるからして、家族制といふ語が若し有意義であるならば、それは「家」族制でなければならぬ。卽ち第一の意味に於いてのみ、家族制てふ語は專門語として役立ち得るのである。然しそれならば寧ろ「族」の一字を省いて「家制」としてしまつた方が、第二の意味と混同される虞がなくつていゝ。而して私の「家制」と謂ふのは全く第一の意味に於いてゞある、論の本筋には關係の無いことであるが、普通の用語と異つてゐるので、念の爲に一言附け加へておく。

乃て本論に立ち返つて、然らば謂ふ所の家とは如何なものかなれば、家は親子の相續不斷の存在體である。家の現在の成員が存在するに依て而して後始て存在するのでなく、それ以上に超越してゐる所の存在體である。現在の成員のある前にも「家」は既に存在し、又その死せる後にも依然として存續する存在體である。家は全てあつて、成員はその分である分の成員は全の家があつて而して後始めて存するもので、家を離れて成員がない。かういふのが現在に理解されてゐる家の觀念である。

さて其家制です。その家制が兎角家庭に於ける女子の位置を低下せしめる原因となつてゐるのである。以前男女同權論の八ケましかつた時代に、所謂男尊女卑の由つて起つた原因が研究されたものであるが、其多くの人の說く所では一は專ら武を尙んだ封建時代の餘習であるとなし、一は儒教から來た影響であるといふことに歸着してゐたものである。是等は其當時に於いてはいづれも尤もな見解であつて、今日に於いても猶それに反對すべき理由を見出さない。しかし第一の封建時代の餘習といふことは、唯尙武といふ事ばかりでなく、他に今一つある。而もそれは第二の理由の儒教の影響といふ事と相一致してゐる事柄である。それは如何なる事柄であるかなれば、我が封建時代は——今日でも無論さうであるが、今日に比べては更に嚴格な族父制を確守してゐた時代でありそれに長子全產相續主義を實行してゐた時代であつた。それて男子が生れた場合には家内中大騷をして御祝をもするが、女子の場合には、一向それ程のこともなく、女子を生んだ母の顏には、何だか申譯がないといつた氣分が漂つて見えた位であるといはれてゐたものである。その餘習が傳つたのが、明治時代の男尊女卑の陋風であつた。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

四

次に儒教の影響といふことであるが、儒教は悪い意味に於て男尊女卑といふことを說いたものであるとはいへぬだらうが、しかし男女の間に位付けをした事は確に事實であるし、それに女子といふものを、餘り重じなかつたのも亦事實である。否孔夫子のやうな方にして猶多少女子を輕んずるやうな口吻を漏されたのも事實である。その影響のために、我が社會に於て女子の位置が向上しかねてゐたといふことは、尤もな事である。しかし孔夫子のやうに常識の圓滿に發達した方で、而も殆どあらゆる點に亙つて急激の言などを弄したことのない方が「女子といふ事になると、まるで平素の孔夫子とは殆ど別人の感をなさしめるやうな言葉を用はれたには、何か深い仔細がなくてはならぬ筈である。その點に眼を付けて視なくてはまだ其原因を探つたものといふことが出來ぬ。私の思ふのには、それは支那の家制が之を然らしめたものであらうと。

支那には餘程古い以前から非常に嚴格な家制が行はれてゐたのである。其嚴格なることはとても日本の現在の家制如きものでない。祖先の祭祀は之を嚴重にやるし、而してそれをやる者は、必ず眞統の血統のあるものでなければならぬので養子相續の如きは之を認めぬのである。論語の中に見えてゐる愼終追遠の章の如き、又非其鬼祭之章の如きは、すべて支那の家制に卽して、極上代から行はれて來た古禮を其儘言ひ表したものに外ならぬ。斯樣に支那は嚴重な家制の社會組織を有つてゐた。而して又今猶有つてゐる國柄である。孔夫子の如きもつまり此國柄の環境に影響せられて、つい女といふものを輕く視るやうになつたのであらう。何故ならばいくら聖人であつても全然其環境と沒交涉であることが出來ぬからである。見給へ、希臘でも彼のアリストテレースのやうな大賢聖であつてさへ、奴隸制度といふものが普通の事、當然の理として甚だ盛に行はれてゐたアテンに生れては、其の環境の影響を脫することが出來ず、やはり當然の道理として其制度を是認したのである。孔夫子が女を輕視したのも、所詮は支那の家制の勢力である。（つゞく）

最近の廓淸運動

□本部大演說會

四月三十日午後六時、神田青年會館に於て廓清大演說會を開く、伊藤秀吉氏開會の辭を述べ、代議士橫山勝太郎氏は『公娼制度に對する政府の態度』と題し、帝國議會に於ける形勢と政府の態度につき別項の如き熱烈なる演說をなし、益富政助氏は『賣淫公許の廢止』と題して縱橫に公娼制度の不合理不得策なるを痛論し、安部磯雄氏は『優生學より觀たる產兒制限』と題し、別項の如き演說をなし、最後に島田三郎氏は『物質の危險と風俗の頹廢』と題して、之亦別項の如き有益なる演說をなせられ、大喝采の內に十時閉會した。此日折惡しく開會前より雨降り出しも聽衆八百人の盛會であつた。

□濱松支部演說會

濱松支部主催の下に五月十二日、廓清演說會を開く、本部より島田會長、出演せられ、滿堂の盛況であつた。

□大阪支部演說會

大阪支部主催の下に五月十三日、廓清演說會を開く本部より島田會長出演せられ、滿堂の盛況であつた。

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

嗚呼江原素六先生

本會評議員江原素六先生は五月十九日八十一歳を以て溘焉薨去せらる。先生は實に我が廓清會の發起人長として創立に盡瘁せられたるの人、爾來常に熱心なる努力と指導とを與へられつゝありたるに、今や既に亡し。悲しまざらんとするも得んや。

先生が教育界、基督教界、乃至社會に盡されたる多大なる功績、或は家庭の些事に至る迄人の模範たるべきの德行の數々は、周知の事實にして我等の今更頌德表を認むる迄もなきとなるが、嘗て先生は余に斯樣なる話をされたることあり。『島田が選擧の應援に行つて演說した後へは政友會にては屹度自分に行けといふ。何故となれば島田の辯舌に敵するの辯士が政友會にあらざるより然るに非ず、島田の云ふ事なれば間違なしと、世人は島田の人格に對して直に之を信認するが故に、それを覆さんには、他の何人が如何に能辯を振ふとも、そは唯旨いことをいふと思はれるのみにて何等島田氏の所說を覆すの力なきが故なり』とて、人格者に對しては人格者を以てするの必要より、政友會の幹部は白羽の箭を江原先生に立て、先生にその跡掃除に行かしむる由にて、『江原があゝいふ事故之も嘘にてはあらじ』と思ふに至るなりとの意を笑ひて念に語られ、余は甚だ面白きことよと聞きたる事あり。然るに今はその政友會に於ける唯一の人格者たる先生は既に昇天せられ、島田先生亦此言を聞かれたらんには上杉謙信と嗟歎を同じふさることもやあらんか。あはれさるにても先生の死は日本の一大損失にはあらずや。

余は殊に少年時代に、先生の薫陶を受けたる事あり、先生に接して常に慈父の溫情を得たりしが故に、一層追悼の念切實なるものあり、或は年に不足はなきかは知らねど、小川町にて余と分れて驅け出し、動き始めたる電車に飛乘る樣に乘られたる先生の後姿を、何ぞ平民的なる貴族院議員なるかと、無量の感慨を以て見送りしはつい此間の事にて、未だ鑁鑠たりし御姿の彷彿たるものあるに、幽冥界を異にして復語る可からず、嗚呼悲しい哉。謹みて弔す。

大正十一年五月二十日

廓清會本部にて
常務理事　伊藤秀吉

犯罪防止策に就て

大審院檢事總長
法學博士　鈴木喜三郎

五萬の在監人と三億圓の損失

曠古未曾有の大戰爭が終熄を告げて、平和の風が世界に吹き渡り誠に喜ぶべき事であるが、大戰の結果經濟界の基礎は動搖して何れの國に於ても生活の不安定を來し、世界何れの方面に於ても其の聲を聞くのである。又日本の思想界も世界の影響を受けて益々惡化し、道義弛癈して勞資の紛爭其の極に達し、國家の前途如何になり行くべきか誠に深憂大患の至りである。犯罪に就て見るに、奸智に長けたる大罪惡は益々行はれ、身體に對する殺傷の犯狀慘鼻を極むるのである。統計の示す所に依れば、大正六七年の交には在監人六萬人乃至七萬人であつたが、其の後稍減少して五萬臺となつた。然るに大正九年及十年には若干增加したのであるから、本年末には尙ほ若干の數を加ふるであらう。斯く在監人五萬幾千人で犯罪者は却々多數である。犯罪者として體刑を受けぬ者、或は體刑を受くべき者にして不起訴となり、又は刑の執行猶豫を受くる者、又は警察署に於て處罰するものがある。是れ等を合すれば一年五六十萬人の多きに及ぶのであつて、その一割か一割一分が監獄に入れらるゝのである。

而して經費の豫算は、司法省所管たる裁判所の費用は一千五百餘萬圓であるが、內民事の分があるけれども半分以上は刑事の費用である。それに監獄の費用が一千一百餘萬圓、それに內務省主管の警察費連帶支辨金中の國庫負擔分が千七百七十餘萬圓であるから、直接國庫より支出する金額が四五千萬圓である。之に各府縣の警察費の負擔額五千萬圓を加ふれば總計約一億圓である。其の他市町村の如き自治體の負擔額及個人の自衞自防の費用大なるものがある。犯罪より生ずる損害に就き他の一面卽ち被害者側より考ふるならば、犯罪に依つて失ふ所の金品、生命、身體の傷害等實に莫大のものである。又一年中常に五萬人も監獄に居るのであるが、若しも此五萬人が世の中に働いたならば、一人一圓の最少額に見積つても一日五萬圓となり、一ケ月百五十萬圓、一ケ年千八百萬圓となるのである。然るに實際の賃金は少なくとも平均一圓六七十錢であるから、一ケ年の合計金額三千萬圓位になる斯く考へ來るならば、犯罪は實に二億三億の大損失を與ふるのである。

犯罪の精神的損失と社會の責任

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

又精神的損失の方を考ふるならば、犯罪者あればその父母妻子が世より擯斥せらるゝのみならず、生命財産等の諸關係より一家離散するのである。其の他種々なる精神的苦痛は如何計りであるか想像し能はぬ程である。犯罪は實に國家を蠹毒すること甚大である。法律の目的は國家社會の安寧秩序を保持する爲めに制定したものであつて、若し之を亂し之を破るものがあれば、相當の制裁を加ふべきは當然である。殊に刑法上の犯罪は實に恐るべき害惡を與ふるのであるが、偖此犯罪が如何にして起るかと云へば、犯罪者が嘗て胎兒であつた時は何等犯罪氣分がないのであるから、其の後に至り所謂後天的に犯罪が醸成せられたのである。虚榮、奢侈、遊惰の爲めに自ら罪を犯すのであるけれども、一面社會の事情が犯罪を誘導して其の犯行を增大すべき傾向があるのである。個人性と國家の設備、制度等の缺陷及周圍の事情に依つて犯罪を遂行するに至るのである。犯罪者固より惡むべきも國家社會も全然責任なしとは言ひ難い。それ故に總て共同生存を基礎とせねばならぬ。己れのみ善ければ他は何うでも構はぬとの思想は、弱者をして犯罪の已むなき地位に陷らしむるのである。斯かる落伍者を生ぜしめざるは國家社會の權利であり又義務である。

世には弱的犯罪は隨分あるのに、吾關せず焉では不可い。犯罪は自動的にも他動的にもあるが、兎に角犯罪あれば個人のみならず國家も責任を負擔せねばならぬ、又犯罪の防止方法は犯罪を未然に防止することゝ、一度犯罪の爲めに所刑せられたる者を再犯三犯せしめぬ樣に事後防止するのである。

要するに犯罪の原因を防止するのである。社會の缺陷、周圍の事情、己れの怠惰、人の富を羨むと云ふが如き諸原因に依つて犯罪者となるのであるから、此犯罪行爲に對しては、公德、規律、己れの分を越えぬことや、勤儉力行產を破らず奢侈亂行をせぬことや、宗敎、家庭の躾等から訓諭匡正して正善の道に立ち歸らしむるのである。又風紀の取締、內務省の活動寫眞、過激なる言論取締に依つて之を訓練指導するのである。要するに宗敎、道德、警察等の力に依つて之を善導するのである。

犯罪の事前及事後防止と改過遷善の實例

世の弱者貧者が犯罪に陷らざる樣豫め之を防ぐことが、所謂事前に防止して犯罪原因を除去するのである。又事後の防止は再び犯さぬ樣に指導感化を與ふることである。本年三月末日現在入監者の內二萬六七千人が累犯者で、一萬七八千人が初犯者である。斯くの如く初犯者よりも累犯者が多い事實に徵するも、事後防止の比較的大必要なることを思ふのである。そして彼等累犯者は大概一定の徑路を辿るのである。彼等が一度犯罪者となるならば、社會一般の人々が之を排斥すること頗る峻嚴であるが故に、再犯三犯を餘儀なくせしめらるゝのである。先にも申す通り犯罪の責任は自己が一半、社會が一半負擔すべきである。若し社會が其の一半の責任に對し何等關知せざるが如き態度を執るならば、實に冷刻輕薄なりと申さねばならぬ。

今犯罪者が改過遷善の效を奏したる一例を擧ぐれば、目下

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

北海道に在つて五十萬圓の資産を有する人であるが、過去三十年間の犯罪は放火、殺人、強盗等凡有罪を犯し、八九度入獄したのであるが、初犯の際監獄の門を出づるとき決して再犯せぬことを典獄に誓ふたのである。然るに實際社會に出て見ると一般の人々より擯斥せらるゝので、非常な困苦を甞めたのである。幾度か車夫其の他の勞役者として住み込み、收入も幾分多くなつて一先づ安心と思ふて居ると、その雇主は彼れが刑餘の人であることを聞知して直ちに解雇したのである。併し生きてゐる以上は食はなければならぬ。然るに生活の資を得べき途が斯く八方塞りてあるので、縱し死を圖つたことは幾度であるか知れぬとの事である。それ故に社會は是等の人々に對して生活の途を與へ之を救助して遣らねばならぬ此人が私の處へ實際の事情を陳べて保護の途を求めた。私は友人の制止に拘はらず此人と交際して幾分指導を與へたが、案外に效を奏して非凡なる熱心を以て北海道開墾の事業に從事し、遂に五十萬圓の身代となり、今は過去の罪滅しの爲めに免囚保護事業を遣り多くの人々の救濟に努めてゐる。

英國に於ける免囚保護事業の盛況と我國知識階級者の誤想

又今一つの話を申すならば、高等官三等の人が犯罪の爲めに刑を受けた。怠惰不謹愼の爲めに或る請託を受けて收賄罪に問はれたので、入獄後非常に慚愧して再び監獄に入らざるべしと典獄に誓ふたのである。然るに出獄後其の友人親族の總てが彼れを見捨てたので、落膽の結果自殺の決心をした。併し再び思ひ返して無益に死ぬのは馬鹿々々しいと云ふ感じが起つて切迫せる生活問題の爲めに再犯を遂げ、再度入獄したのである。若し社會が溫情を以て之を迎へ適當の職業を與へたならば、決して再犯せなかつたであらう。人間の性は固と善であるから、必ずやその本然に歸るべきに、實際歸ること能はざりしは社會の責任であると云ふも決して過言ではない。私が嘗て歐米に參りたる際、免囚保護事業を視察したのであるが、英國は却々盛んであつて富豪の個人が免囚者を保護してゐる。又海事思想を養成する爲めに舊艦を買ふて三百人の免囚者を載せて活動した。主人が會長で夫人が之を助くると云ふ風である。そして老後の樂しみとして多くのネルソンを養成したいと申して居つた。我國の人々も單に善光寺詣りするだけでなく、免囚保護事業にも注意して貰ひたい。

然るに知識階級者中「世には鰥寡孤獨の者が多くある。之を救濟するに忙しいのみならず他に多くの仕事がある。犯罪者を保護するが如き迂遠なる事業は餘り必要を感ぜぬ」との誤想を有する者があるが、是れ思はざるも甚しきものである。免囚者をして改過遷善の域に達せしめて適當なる職業を與へ、働くべき地位を與ふることは實に偉大なる社會事業であり。緊要なる慈善事業である。それ故に不幸にも犯罪者が增加することは國家の損失であり、之を救濟することは實に愛國心の發露である。犯罪の事前防止固より必要であるが、事後の免囚保護事業亦非常に痛切緊要なる大事業である。願はくば諸君が思を爰に致し、此事業の爲めに一臂の力を添へ國家の爲めに奮勵努力せられんことを希望して已まぬのである。（講演要領文責在記者）

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

奇蹟と自然科學

工學博士　佐藤定吉

□全世界に冠たりし支那の文明

人間が太陽の黑點を發見したのは餘程古い事であつて、先づ第一に支那人の手に依つてなされた。歐洲ではガリレーが今から約三百年程前に初めて望遠鏡を發見し、それに依つて見出されたのであるが、其後黑點に關し研究が盛んになつたのは今から約六十年前にシユワルベーといふ人が有力なる研究を學界に發表したからである。即ち極めて最近の研究發達に係はるものである。然るに支那に於ては紀元前廿八年前、乃ち日本の　垂仁天皇の御代に業に太陽を觀測して、そして黑點を發見したのであつた。それが現在、支那の書物に明らかに記き殘されてある。支那の書物に太陽の面上に三本足の烏の形を有する斑點が存在することを記載してある。御承知の博文館から發行される太陽といふ雜誌の表紙に三本足の烏の繪があるが、あれは太陽の象徵であつて、斯樣に支那が紀元前廿八年前に此の發見をしたといふ事は實に驚くべき進歩であつたと謂はねばならぬ。

今てこそ支那はあのやうな氣の毒な狀態にあるけれども其の昔の進歩して居つた事は異常であつたらしい。日本なども支那の文化を輸入して發達した國であるが、それは單に形而上學の孔孟の教に過ぎないので、天文地文藥學其の他の自然科學の方面は全く等閑に附せられて毫も顧みられなかつた。此の一事が未だに我日本人の頭腦に科學の入り難き基因を爲して居るやうに見受けられるのは寔に痛嘆の至りてある。

□太陽の黑點と一週期程

却説支那は夙くから太陽の黑點を觀測したが、之れが西洋で學術的に研究さるゝに至つたのは千八百六十二年、今から丁度五十九年前であつて、彼の有名なるシユワルベーといふ天文學者が精細に長い間研究して、其の論文を發表した。それが多くの人の注意を惹いて、爾後盛んに太陽面の研究が行はれるやうになつて、最近では米國加洲のロスアンゼルス市に特別なる太陽研究所すら設立される氣運に至つてゐる。現今人類が會得する太陽に關する知識は悉く右の研究所から發表報告される事に依つて初めて知る事が出來るのである。

今其の研究の結果に就て極めて概略を申述べると。太陽の黑點を觀測は、三つの異なる部分からなるを知る。眞闇な部分と、半ば黑い部分と、稍々白味がゝつた部分とが

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ある。而してその眞闇な部分を黒點と云つて、其の面積は非常に大きく直徑五萬哩程もあるといふ、中ば黒い處は直徑廿萬哩、白味がゝつてゐる處は地球直徑の二倍半程ある時もある。此等の黒點は常に絶えず變化してゐて、之を觀測して居ると、廿五日强で一週轉して又現はれるけれども、其の時は前に見たのと違つてゐて、小さい處が大きくなり、大きな處が小さくなつてゐる。或は時には少しの變化もなく前のやうな同じ面積で現はれる場合もあつて皆一様ではない。

初め太陽は動かぬものとのみ思つてゐたが、仔細に黒點を研究して見ると、廿五日目に一回轉するといふ事が判つたのであると同時に、更に面白い事は、太陽にも地球と同じ様に矢張り赤道といふやうなものがあつて、其の邊の黒點は他と比較して動き方が非常に早い、變化が多い。是れて太陽が地球のやうに固體でなくして、油の様な液體だといふ事が想像されるのである。て、其の赤道の邊は廿五日程で一週期が認められるが、八十度あたりの處は廿八日もかゝる。

□太陽の活動が地球に及ぼす影響

次に黒點の固圍を觀測すると白い光を放つ部分がある。之を白紋と云つて、黒點の多くなるに伴れて白紋も又大きくなり、黒點が小さくなるに從つて白紋も復た小さくなる。而して黒點の多い時は白紋も多いから一段と光輝を發するのである。即ち一種の發光星として太陽は遠距離の星から眺められるのである。一體黒點とは何であるかといふに、昔は太陽に大きな洞窟でもあつて、其の影だと思つて居つた。然るに太陽研究所長のヘール氏の發表に據れば、黒點は凝結した雲の如きものが渦をなして居るのだとの事である。太陽の表面には常に大なる爆發がある、地球でも折々爆發があるけれども太陽の爆發は到底その比ではない。望遠鏡で觀ると太陽の表面から丁度蛇が舌を出すやうな噴煙が見える。それは噴火ださうである。又黒點は太陽が爆發して其の內部から噴出した金屬を熔解した液體が二三十萬哩も噴上げられて、それが太陽に墜つる。その刹那地球ていへば一種の雲の如きものが起る。それか渦狀を成してゐる。その時我々の眼に黒點として映ずるのださうである。又白紋は水素瓦斯の噴出であつて、兎に角黒點や白紋が盛んに現出される時は、太陽面上到る處に大爆發のある時で、卽ち大活動の時である。此の太陽の活動が地球に大なる影響を與へずには置かないのは謂ふ迄もない事である。

□ニウトンの引力說と太陽磁石力

更に之れも太陽研究所の一大發見であるが、太陽は一大磁石體であるといふ。我々が實驗する處であるが、鐵粉の傍へ磁石を持つて行くと鐵粉が吸引される。その様に太陽も又地球其の他の天體を引いて居るといふ事である。卽ち單にニュートンの引力說の如く、地球のみのが引くのでなくて太陽もそれには大に影響があるといふ事が知れて來た譯である。所謂地球に於ける磁石の嵐、其他北極等で見られる北極光などは何れも太陽自身の磁力の變化に伴つて起る變化であつて、黒點の多い時に磁石の嵐が來る事は既に吾人の屢々經驗する

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

處である。だから我々は太陽より受くるものが、單に光と熱と計りでなく磁石の影響も大なるものがあるといふ事を考へなくてはならぬ。

而してその太陽の浮沈を學術的に之を仔細に觀察するに、其の週期が十一年と一分三厘、即ち約十一ヶ年半でやつて來る。假りに大正二年に太陽の黑點が多かつたとすれば、大正十三年がまた多い時である。之は實に大なる發見であるが、實は支那に於ては形而上でこそ相違あれ既に發見して居つたのである。それは即ち十二支がそれである。彼の子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥の十二支であるが、これを人事に當てはめて考へて居るが、之れは決して見逃す事の能ない一大眞理と謂はねばならない。謂ふ迄もなく自然現象を仔細に觀察して之を人事に當てはめた合理的のものであつて「聖人易を作るや天地を俯仰して其の象に則る」とあるが、實に卓見であると思ふ。世には十二支十干を一概にけなす學者もあるが、其人こそ或は麓に居て山頂の人の眺めを知らぬに類して居るかも知れない。

□現代科學の缺陷と其誤謬

議論の餘地は更にないが、太陽面の活動力の盛んなる時には放射する熱量も增大するから、從つて地球の受くる熱量は平氣よりも氣候を温暖にし、延ひて地球上生物の生活に大影響を與ふるのは當然であつて、其處に十二年間の氣候の相違があり、其の氣候の相異に依つて生じたものが一樣に見る事は出來ないのは謂ふ迄もない事である。斯くの如く從來迷信として顧みられなかつた十二支十干が科學の發達進步に依つて力けられるに至つたといふ事は極めて注目すべき事であらうと思ふ。迷信であるとのみ思はれてゐた十二支十干が、我々の到底夢想だに及ばなかつた太陽の影響を、何百年の昔之れを發見し說かれたといふ事は實に推賞すべき事である。

□聖書が科學的に立證される日

斯樣に從來兎角顧みられなかつた易學でさへ、斯る一大眞理が含有されて居るのであるから、況して聖書の記錄に例令科學的に不可解な點があるからとて之を奇蹟扱ひにして學術界より例外視するといふ事は、則ち現在の科學の知識否科學者の體驗が低いからである。科學者の靈耳靈眼が閉ざされて居るからである。科學の範圍は決して天然界の動植物鑛物等の物質間に通ずる原理を究めて其の眞理を闡明するにのみ止らず、更に進んで物質を支配し、物質と消長を共にする生命その者に切り込んで行かねばならぬ。生命に關する科學的研究が完く成就される日が即ち聖書が科學的に立證される日でなくてはならぬ。

われ律法また預言者を毀つために來れりと思ふ勿れ。毀たとて來れるに非らずして反つて成就させんが爲めなり。誠に汝等に告ぐ。天地の過ぎ行かぬ内に律法の一點一畫も廢る事なく、悉く全うせらるべし。

（馬五、一七）

小説の教育的價値

文學博士　吉田熊次

小説を子女に讀ますべきか否かと云ふことは、獨り教育者ばかりでなく家庭の親達が常に心を煩はしてゐる事であります。外國に於ても宗教學校等に於ては、ゲーテのファウストは讀んではならぬと禁じてゐる所もあるし、一般に陸海軍の軍人の學校では小説類を嚴禁してこれれの書物の外は讀書する事相ならぬと云ふ規定を設けてある所もあります。

私の友人で矢張り教育者になつてゐる者等は自分が此年まで色々の誘惑にかゝらず、相當にこの世で有益な仕事をなし遂げて來たのは、幼い頃から小説を愛讀して、人間がどんな場合に墮落するか、人間は如何にして救はれて行くかを、色々の具體的例に依つて知つたからで、全く自分は小説の御庇護で生きて行つてゐるのである、と私に嘗て云つた事がありますが、この友人の言葉通りであると小説の價値も實に偉大なものであります

小説は何を目的としてゐるかと云ふに人間の生活を寫すのが小説でありますから、小説を讀む事に依つて人間の生活を知り得るのは尤もな事です、私共が人間の生活を知るに、直接方法を用ひれば、一々私共が經驗をして見なければならぬ所が境遇が許さなかつたり或は時間が許さなかつたりして、自分が知らうとする事を全部經驗する事が出來ないから小説を見て、此足りない經驗を補ふのです。

それでは何故小説が惡いやうに思はれてゐるか、それは藝術の力の偉大な事で以て、其小説の主人公なりが、性格に缺點があつても、隅から隅まで、感服されて仕舞ふから、間違ひが起るのです、此性格の此點まではよいが、此處が問違小つてゐると云ふやうに、冷靜な態度で判斷して讀んだら少しの害もなく、却て有效であらうと思ひます。小説には、寫實派と理想派とがあつて、寫實派は有りの儘の人生をうつすのですが、これとても人生のどの部分をうつすかと云ふ撰擇は、作者自身がするのだから、寫實派の中にも幾分の理想が混じりますし、理想派と云ふのは、作者自身のかうありたいと望む理想を書くので、それを描かんが爲めに、人間生活の具體的例をひいて寫實するのです、さうすると、寫實派と云ひ、理想派と云ひ、共に或點に於て共通した所が認められる、そして小説は理想派にせよ、寫實派にせよ、共に人生の一部分にしか過ぎないのであつて、それを美しい藝術の力を借りて表現せられるものですから其特種な一部分が人間生活全體を代表してゐるかの如く思ふ所に、讀者を過まらせるのであります。例へば教育者て墮落した者の事が書いてあれば、現在の教育界はかくの如くだ、この一例を以て推て知るべしだと、早呑込をして終ふ類です。それ故精神の定まらぬ子供に小説をよませる場合は、父兄が小説をよく選擇して冷靜な判斷を子供がしたかどうか自分が前以つて一讀して置いて尋ねる位にすれば、小説はよんで一向差支へないと思ひます。(談文責記者)

米國人の長所

基督教婦人矯風會々頭　小崎千代子

禁酒法實施後に於ける掃き清められたるが如き米國

私は今回で三度米國へ參りましたが、今回行つて見ると、前回と餘程變つた所があります。私は今回主人と共に往復二萬哩の所を僅かに五ヶ月間旅行したので之を回顧すると隨分能く色々のものを見たなあと思はるゝ程であります。私の重もに視察したのは教會、教育事業、婦人會、工業其の他でありますが、然し市街などを往來するときに總てのものが目に着くのであります。電車でも商店でも何でも之を見る毎に日本のものと比較するのであります。紐育其の他の大商店を見るときに直ちに三越と比較し、又大劇場を見るときに帝國劇場と比較するのであるが、米國の此大商店でも大劇場でも餘りに大きくて比較にならぬ程であります。又米國の人々が如何にも人間らしく働くので、誠に愉快げに活動する様子が見ゆるのであります。百聞一見に若かずであつて、私共が此米國人活動の有様を親しく見るならば、非常なる刺戟と奬勵を受けて偉大なる效果があると思ふのであります。

私は明治三十八年加州に參りましたが其の際は東の方に行きませんでした。其の當時加州の市街の目貫きの場所には必ず酒場があつて不體裁であり、酒が廉價であるために暴飲の結果多くの醉臥者を見受けたのでありましたが、今回足掛け十八年振りに參つて見ると、その目貫きの場所には酒店がなくなつて、綺麗な雜貨店其の他の店が出來たのであります。そして更に醉臥者を見受けないので、實に市街が掃き清められたるが如くに感ずるのであります。紐育の篤志家フレデリックスミスと申す人が、北米の三十一州に對し禁酒の結果に付質問を發した處が、各州共略ぼ同一の返答であつたと云ふことであります。即ち警察は閑暇で貧乏人が減ずる。そして町全體が清められたのであると云ふ返答であります。米國の各市街や地方には全然酒がないではないが、衆人の前や休憩所などに飲まぬのであります。それ故に私共が偶に酒を飲む人を見たが、其の人等は誠にきまり惡さうにして飲むのであります。

大戰後變化したる服裝と食事及溫かなる世界同胞的大精神

又米國は戰爭の結果非常に緊縮の態度を執り、經濟に注意する様になりました。一般から申すならば米國の商況は不景氣であり、汽車の乘客なども空いて居るのであるが、不景氣であるだけそれだけ一生懸命に商賣に努力してゐるのであります。先年私が米國へ參りたるときは婦人の衣物が長くて裳がだら〳〵と地上に垂れる位であつたのが、戰爭後には非常に短くなつたのであります。是れはハイカラの爲めと云ふこともあるであらうが、それよりも經濟的と云ふ方が重もなる原因であると思はれます。又大戰の際

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

男子が出陣して婦人が男子の職業たる車掌、運轉手、事務員其の他凡有仕事に從事したのであるから、衣服なども活潑敏捷に働き得る様に短く變つて來たのであると思ふのであります。食事の如きも戰爭前は三品乃至五品を出したのであるが、今は大概二品であつて、誠に質素であります、各家庭に於ても此食物に注意して無駄にならぬ様に考ふるのであります。斯くの如く米國人は最善の事を勵行するときに一致してやりますが、日本では却々六つかしいと思ふのであります。是れは宗教と教育の關係に依るのであつて、彼の國に於ける一般社會の空氣が、此宗教と教育より來れる清く温かきものを以て漲つて居るからであります。

一二の例を云ふならば、紐育より百哩程離れて居る所の、日本で云ふならば函嶺の様な所に、世界各國の宣教師の會議があつて、私共も列席したのであります。その宿屋の主人は立派の老翁で年齢七十三歳、夫人は七十歳であるが、夫婦共非常に親切な善き人であるのみならず、宿屋全體の空氣に温味があり親しみがあります。又客室には色々と注意すべき事柄が記してあります。例へばこの室は貴方のものであるから、家庭にあると同じ心持ちを以て氣樂に自由に使つて貰ひたいと云ふことが掲載してあります。又ベルが數箇裝置してあるので、甲のベルは洗濯物を御命じの時押して下さい。乙は何丙は何と云ふ工合に記してあるのであります。食事の時間も朝晝夕は何時と掲載してあつて誠に規則正しくあります。又午前八時半に鐘が鳴るのであるから、近所に教會堂でもあるかと思ふと、さうでなく其の宿屋に禮拜すべき廣き室があるので、ピアノや其の他の立派なる樂器が備付けてあります。誰れが司會するかと思ふと其の宿屋の老主人が司會するのであります。そして儀式一通りだけでなく眞に赤心を籠めて祈るのであつて、世界の宗教と教育の爲めに又此所に集り來りたる人々の爲めに祈り且つ感謝すると云ふ風で、私共は實にその難有さと尊さに打たれたのであります。

□□謙遜博愛なる宿主と親切誠意なる信號手、運轉手、商店員□□

日本に於て吾々が宿屋の主人に依りて恁う云ふ氣分に打たれるのは、抑何時であらうかと沁々と思はるるのであります。或は日本の内にも斯くの如き立派な空氣や氣分に滿ちてゐる所があるやも知らぬが、私の寡聞なる未だ之を知らぬのであります。此宿屋の宿料及食費は相當に掛つたのであるが、老主人の好意で少しも其の料金を取らず、總てお客にして呉れたのであります。又此老主人は加州に別莊を持つて居るので、冬になると全家族其の方へ行くので、こちらの方は冬中家を明けて小學校を開き、又寄宿舍とするさうでありますが、少しも傲慢の様子なく、ニコ〱してゐる風は實に欣慕すべきであります。

又紐育へ入ると街路の交通非常に繁劇であるが、その十字街道に立てる信號手は何ふ云ふ人であるかと云ふならば、大きな丈高き人であつて熱心に機敏に信號するのであります。そして一般の通行人は克く其の信號に從ふのであります。此信號手は常にニコ〱して居り、少し暇があると鼻歌を歌ふと云ふ風であります。私はうろつき乍ら一方の側より他の側に渡して呉れと信號手に頼んだのですが、彼れは丁寧親切に案内して呉れたの

であります。日本の警察官も難有き人民の保護者であるに拘はらず、單に之を怖い者である如くに考へて、心なき人々はその子供に對して、そらお巡りさんが來たなぞ申して脅すと云ふことは甚だ不心得の至りであると思ふのであります。又或る時私共は知己の招待を受けて歸路自動車に乘る際、その主人は運轉手に向ひ、此お客は大事のお客であるから鄭重にして呉れと申したのであります。處がその運轉手の答へて申すのに「勿論私の自動車である」と。言葉は簡單であるけれども其の責任觀念の强きことを克く言ひ顯はして居ると思ふのであります。亦商店へ行つても非常に叮嚀親切に色々と澤山の種類や品數を見せて呉れる。且つ當方の都合で買ふことを見合はせても決して惡感情を抱く樣な樣子が見えぬのであります。兎に角米國には其の信號手、運轉手、商店員の如何に拘はらず、彼等の心の内に何等かの共通的に動くものがあることを感得せずにはゐられないのであります。

□活き〳〵したる小學教育の實況と、男女靑年會の運動振り□

又小學校へ行つて見ましたが、二十二三歳の女の先生が六十人の生徒を讀み方と算術と圖畫の三組に別けて敎へて居つたのですが、其の指先で生徒を指導訓練する敏捷さと、鋭敏なる眼の力を以て敎ふる活き〳〵した有樣は實に偉いものであると感じたのであります。又その生徒も注意の仕方が日本の子供に比し慧敏である樣に見受けられました。米國に於ては小學校の先生は總て信者を用ゆるので先生の親切が敎場に溢れてゐるのであります。又私共が約一ヶ月間華盛頓に滯在して居つたので、或る日大統領夫婦に面會することになつたのでありますが、服裝其の他格別の面倒がありませぬ。そしてホワイトハウスの中は何處でも拜觀が出來るのであります。私は日本服の紋付きで參つたので、ホワイトハウスの役人が私の袂を見て、之がポッケットかと驚きながら質したのも滑稽でありました。又吾々の如き旅行者に對し、女子靑年會が熱心に周旋し、男子の靑年會も非常に活動するのみならず、一寸變つた人が來ると之を利用することに努力するのであります。

私共は一度神を信じてから、總ての人類は兄弟であり姉妹であると信じ得るので、歐米諸國へ參る心持ちも起るのであります。又加州に居る多くの日本人に接見したのでありますが、彼等はその天職の爲めに努力して加州の土となる決心を有してゐる。吾々日本に居る者は彼等の心を體得して彼等が後顧の憂なき樣奮勵努力せねばならぬことを痛切に感ずるのであります。又婦人は敎育、宗敎其の他凡有方面に於て、神の前に男子と同等であることを日本でも敎へらるるが、米國では一層深く明かに敎へらるゝのであります。私は敬愛する姉妹さんがたに御勸めしたきは、此際一大奮發を以て歐米を視察し、大いなる獎勵と敎訓を受け、益々その信念、智德、識見を增進するために奮勵努力せられんことを希望するのであります。（講演大要、文責在記者）

> 大阪に於ける藝妓指定地問題は、別項『廓清時言』中に記された樣な次第であるが、林歌子女史は『母の同盟』を作り、二萬人の調印を得て、内務大臣及大阪府知事に反對の陳請書を提出した。且つ大阪中央會堂に、賀川豐彦、畠中博士、久布白落實、加藤直士、林歌子諸氏の盛んなる演說會が開かれた。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

長崎遊廓の新社會施設

木藤冷劍

歐洲戰後勞働問題の天下に叫ばるゝに及んで、從來の主從關係は大なる變革を來し、昔の「主人と親とは無理なるものと思へ」といふた舊道德は省みる者なく自由を叫び、解放を叫んで來た小僧が、店員となり弟子が徒弟と云はれるやうになつても、此「廓」といふ地は少しも時代の空氣に當つて居らない今日、長崎市戸町の遊廓は一つの新しい社會施設が此一月十五日から開始されて居る。

長崎縣農林課藤野主事の指導によつて組織したる、有限責任長崎市南購買組合が卽ち之である。

戸町一丁目六十三番地に組合は置てある、昨年九月二十五日の總會に於て組合員各自炊事を廢止し、衞生と經濟とを併せて改善し、組合員の家族五百餘名は同一の食事を爲して不平を唱へしめず、遊客に不滿を抱かしめざるの目的を以て、遊共同炊事場を設くる事を決議可決して、東洋亭を貳千圓にて買收し、尙約貳千圓を投じて備品什器を購求し、改築工事に着手して蒸汽機關ライスボイラ、大正釜等を据ゑつけ、冷藏庫を造設して、二部に分ち、第一部を組合料理部とし、第二部を遊客の料理部として、約六千圓の工事費を投じて開始した。

同組合には組合長一名、副組合長一名理事四名、監事三名、書記三名、小使二名である。

出資總額一萬圓である、購入に際しては市内は勿論縣下縣外より見本品、酒九十五點、白米六十四點醬油六十六點ビール清涼飲料水五十三點の出品があつて、最も安價なるは市價の半額、高價なるも市價より尙二割以上の安價にて購入する事を得たといふ。

炊事部は各家にて下女其他をして炊事部に食事を受取りに出張せしめ、料理部は假令十錢のものにても配達をして居るのである。

茲に一月十五日より二月十八日迄の同遊廓の獻立表を得たから左に記載する。

日附	日附	日附	日附	日附	朝食	晝食	夕食
一月十五日	一月二十二日	一月二十九日	二月五日	十二日	米飯 豆腐味噌汁 漬物	米飯 煮付（肴 大根 蒟蒻） 漬物	米飯 千切、大根三配漬 漬物
十六日	二十三日	三十日	六日	十三日	米飯 モヤシ味噌汁 漬物	米飯 ニシメ（芋牛肉 午、蒡） 漬物	米飯 ホウレン草、ゴマ醤油 漬物
十七日	二十四日	三十一日	七日	十四日	米飯 豆ノゴ味噌汁 漬物	米飯 煮付（肴 芋 大根） 漬物	米飯 納豆味噌 漬物
十八日	二十五日	二月一日	八日	十五日	米飯 菜味噌汁 漬物	米飯 味噌でんがく（味噌 大根 こんにやく） 漬物	米飯 大根鱠 漬物
十九日	二十六日	二日	九日	十六日	米飯 大根味噌汁 漬物	米飯 煮付（肴 モヤシ） 漬物	米飯 白菜ノ味噌アエ 漬物

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

二十日 二十七日 三日 十日 十七日	米飯 豆腐味噌汁 漬物	米飯 シチュウ（牛肉、人參、玉葱、馬鈴薯） 漬物	米飯 モヤシノ白アエ 漬物
二十一日 二十八日 四日 十一日 十八日	米飯、味噌汁、揚豆腐、カラ、漬物	米飯 スアシ（ソーメン、フシ、鮹ノテンプラ、葱） 漬物	米飯 湯豆腐 漬物

表の如く、兎に角米飯であり、一週一度は牛肉が食へる相當な食事であるが、一週毎に變らないが時々にかはるのである、一日の食料が金貳拾三錢といふ方外もない安いのである。

目下我邦の社會施設中、食堂に於て安價に食を提供するもの丶内安價なるは東京の神田慈善協會の昌平橋食堂であらう、三食を通じて一食十錢、上野食堂(市立)が十五錢、横濱社會館が十五錢、神戸のが十三錢、平民食堂が十三錢均一である、今日三食二十三錢で食せる所は一ヶ所もない、尤も此廓の組合は組合員以外には食事せしめる事は目下の處ないのであるが——

朝食は午前十一時であり、晝食は午後四時である、昔から殆んど人間の扱を受けてゐない今日に於ても、差別の甚しい遊廓に於て、樓主や娼妓、藝妓、更に下女下男が同じ卓を圍んで、その荒んだ心で樂しい食事をする事の出來るのは、何といふ喜びであり幸ひであらう。

尚近く機關の餘つた蒸氣を以て、組合員の共同浴場を建設する計畫であるといふ。そして食事の分量を見るに、白米は一日一人四合宛の割であり、肴は一斤を六人の割、牛肉は一人十五匁と定てある、味噌汁一合五勺、野菜廿五匁といふ献立になつてゐるが、實際は米は一人當り平均三合内外にて足るといふ事である。

衞生設備も極めて行屆き、二六時中汽灌の火は絶やす事なく、常に容器、膳、碗皿等に至る迄百二十度以上の蒸汽を以て消毒し、警察衞生當局よりも非常に賞讃されてゐる、炊方は米飯は三十封度の蒸汽を以て五分間にて炊き、十五分間蒸し、煑付は三十封度の蒸氣を以て五分間、汁物は五分間、蒸物は十分間、湯で野菜は二十分間、冷水より沸湯迄十五分間を要する事になつてゐる。

目下の値段出來あがり高は、米飯一升分約四十八錢、汁一分一錢五厘、煑付六七錢位で出來あがるといふ。

寒中に副食物運搬は銅製蓋付の食器にして、内部に錫を鍍金したる七升入一斗入等にて汁類を分配するに容易ならしむるため、桝目標を附してあり、何十人前入にても一時間餘冷却せざる設備になつてゐるとの事である。

最後に夕食は遊客が好みによつて注文する故、炊事場は飯だけ供給する事になつてゐる、之が他界と異つた點である。

我等は常に公娼制度の廢止を叫んでやまないものである、今日に於ては制度の廢止どころか、彼等を遇するの點に於ても極めて薄いと聞いてゐる、嘗て越前福井市の廓に於て公休があり、靜岡では貯金を奬勵し、中京では貧民に救助すべき積善會を起して、毎月一錢宛娼妓より徴收してゐる。何れも一局部にとゞまつて、大局に亘つてゐない、虐げられつゝある彼等の財を集めて、貧民救助がどれ丈の社會奉仕にならうか。

今や風教上より見たる最も成績の惡かりし長崎縣の遊廓に、此新施設あり、斯くの如き社會施設が諸所に行はれ、一條の慰安と幸福を切望して止まぬ者である

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

驚く可き吉原病院 檢黴の內幕（上）

內務當局及警視廳の凡暗

謎の世界吉原病院日誌（十三）

元吉原病院看護婦　瀧原和子

五月十八日　古い一册の太陽を借りて新家庭と少年物と讀みゆく中に「死期に近づける公娼制度」と云ふ安部磯雄先生の記事があつた。多大の興味を以つて讀むうち次の如き句があつた「我國民の多數は、今日も尙政府當局と同じく公娼制度を以つて、黴毒の蔓延を防ぐに有效であると信じてゐるらしい、若し此信仰の根柢が破壞せらるれば其存在を維持することが出來ぬ」と。又「黴毒患者に關する統計の確否を知る前には、先づ顯微鏡檢査を行ふたか否かを知らねばならぬ云々」と尙次に「顯微鏡に依らざる檢黴が甚だ不完全であると同時に、娼妓は常に檢黴醫を欺く手段を用ふるのである……殊に我國の公娼制度に於て、樓主側より檢査醫に對して種々なる壓迫や誘惑の來る事は、之を推測するに難くはない云々」と。私はこゝに至つて、或るおかしさを堪へる事が出來なかつた。側の患者が不審さうに聞くので、私は次の樣に物語つた。

「それは、私の今まで居た娼妓病までは、顯微鏡檢査も隨分しない事はございません。でもねえ、こゝの院長樣、退院者の淋菌檢査をする時、オベクト（退院者の黴菌を見る爲に滴下せる小さき長方形の硝子板）を鏡下におくまではいゝが、扨て之を檢査なさる時のお眼の配り方、それは常に助手（看護婦）の持つてゐる處方箋上（病床日誌）の氏名や、入院の長短に注がれて居り『おゝよい／＼之はない。いやつ一寸待つて』と又處方箋を見、入院が長いと思へば再び『ウン無いてよし／＼』と。短かくて退院に及ばぬと思へば『有りだよ』と云ひ直すのですよ。（此有り、無しとは處方箋上に、淋菌の有無欄が設けられて居るに依り、看護婦は之に醫師の言葉を記入するのである）此時は或人は云ふ、『主として日誌中の樓主の名を見るので○○を持つて來る人の家の妓は淋菌があつても、短期入院でもどし／＼無にして退院させるんでせう』と。でも之はまさかと私等は思ひます。斯うして日々の出來事を、勤務の退けた夕邊となれば、人眞似の上手なF樣とM樣は「ちよいと／＼、みんな御覽なさいよ、今日も先生が斯う／＼して」と眼鏡越しに檢査をなさる風をわざと滑稽に、お眼を轉々させて私等を大笑ひさせてましたの。

又「娼妓はに常檢黴醫を欺むく手段を用ふ云々」つて事に就いて……、それはあの社會では一週一回乃至二回の檢査程恐ろしいものは又とない事にして居るのです。丁度私共が內務省の試驗でも受ける時の樣な氣持ちかも知れませんわ！なぜそんなにこわいの？と聞けば、誰でも「入院すれば第一、年期が長くなる、借金が增える、樓主からわざと入院し店を休む樣に云はれ、牢屋の樣で自由は利けないし……とねえ、それは全くなのですもの、無理もありませんわ！又遊廓地に開業してる醫師は隨分繁昌するんですつて、檢査を受ける前、一寸した損傷等は色素液に依つて、一時檢査醫の眼を欺かされ得るからだと云ひますし、又愚かな考へから、或者は名も知れぬ草の葉を絞つて其汁を塗つたり、障子のサンに溜つてゐる汚塵を附着せしめたりして、その一時一時を免ぬかれ樣とあせるのです。殊に滑稽と思はれるのは、檢査臺上に上つた時、種

々の迷信から、かれて朋輩と示し合せ、そつと後より袖や衿を引張り、或は櫛、かんざしの類を疊の蔭に忍ばせたりして、入院しない爲のまじなひにするんだと云つてますの、思へばいぢらしい心根ではございませんか。

又「樓主側より檢查醫に對して種々なる脅迫や誘惑の來る事云々」に就いての話柄も、擧ぐれば數へ切れぬ程の惡例中、殊に正月やお盆の贈答事に付いて、非常なもてなし方をしょます樣ですねえ、よく警察や院長樣宅に出入する〇〇小使さん「今にあの人達の家は、貰ひ物成金になりますよ」なんて、私等が否認すると「ぢや論より證據行つて御覽なさい、ビールや、煙草包み紙等で奧の方は一杯だから」等と眞顏になつて冗談を仰る。すると好事家の〇〇さん用もないのに御機嫌伺ひに行かれ、女中を捕へて內所の事まで聞いて來ては、みんなに發表すると云ふ有樣……、隨分滑稽、否あさましい事實……ぢやありますまいが暇が多かつたわ、てもねえ、それは私、物を受ける警察や檢查醫(そんな事はあるまいが假りに)、引いては私等が惡いとは思ひませんの、何故つて私はよく〱あんな社會に緣のあつた者と見え、その以前、大分縣立治療院と云つて、やつぱり醜業婦を取扱ふ病院に、東京の洲崎病院時代から知つてた先生のお世話で、行つてた事があります。其時、樓主等は新らしい院長の心を知らず何かと贈り物を頻りとしました。けれども、潔癖家の先生は、一切之を謝絶してました。私等も、何遍か中に立つての挨拶に困つた事がありますの、だから或人(樓主)は院長を「交際知らず」だの、石部金吉だのと蔭口云つてた位……從つてあの社會、妓共に取つては神の樣に慕はれても、樓主側では受けがよくなかつた事をよく知つてますの(さうした爲か此の先生は間も無く此病院を辭められたさうです)斯うした規則の下に育くまれて其の私、S市に轉勤してからと云ふもの餘りに其甚だしい相違に驚かずには居られませんでした。初めの程は、私等看護婦にも、樓主組合より謝禮として多少(一圓位)あり、又娼妓からも下駄や裝飾物の類を持つて來る者があるので、やはり以前と同じだと思ひ、一も二もなくお斷りした所、或る妓等、「今度の看護婦さんによつぽど變な人間だよ、人が切角あつらへて持つてゆくのに、あんたがお使ひなさいなんて、馬鹿にしてる云々」と非常に怒つたとか、之を聞いた友達、私を呼んで「こゝの規則はあの上の人からして斯うなんだからねえ」と篤と、聞かされ、よくない事とは知り乍ら、習慣の恐ろしさは、其後平氣になり、否、盆、正月になつて貰ひ物の多い事を「それ丈け信用があるんだ、」と人も許し、自分もいゝ氣になるが如き狀態になつたのです。でも幸に早く敎會に足ぶみする樣になつて、人の樣に酒や煙草には、親しみを持たず、贈物をも、なる可く避ける樣になり、引いては神の惠を、不幸な人々へ傳へる事の出來たのを私は嬉しく思ひます。扨て、斯うして私自身が既に、そんな實驗を經て居るのですもの、之が何かと事に當つて影響し、研究から壓迫され、誘惑される大きな原因の一となるの事實は、御察しが出來ませう。安部先生方が仰られる推測どころの沙汰ぢやありません。(可燃事實曝露次號につゞく)

編輯之後

▼女から結婚破約の申込を受けた男が、女に對して三萬三千圓の慰藉料請求を裁判所に提起した。女が結婚の破約によりて男に貞操蹂躙の訴を起してよい樣になつたのだから、男だつて反對の場合に貞操蹂躙や慰藉料請求の訴が出來なくてはならぬ。

▼眞面目な意味の男女交際や社交機關としてのダンスの流行もあらうが。同時に異性に飢ゑた男女を釣るためのダンスの倶樂部などは甚だ困つた產物だ。先達て大阪で自殺したクラブの女將などは此うした倶樂部の存在を實證したものだ。

▼それに系統を同うする樣な感じのするのは、四葉倶樂部とか何とかいふ戀愛媒介の倶樂部の出生である。それが結婚を救ふとか、男女交際だとか、皆それ〲尤もらしい假面を冠つて來るから、氣をつけなくてはならぬ。

▼七歲の女兒の體量を見ると、瑞典の女兒は五貫五百匁、日本の女兒は四貫五百匁である、卽ち其差は一貫匁であるが、十歲になると瑞典は七貫匁、日本は五貫九百匁、十二歲に於ては瑞典は八貫五百匁、日本は七貫二百匁て、五年間に三百匁だけ日本が遲れる。更に十七歲の娘盛りになると、瑞典は十三貫七百匁といふ日本の此年齡の男子以上の體重を示してゐる。而して日本の娘は此年の平均十一貫九百匁といふ貧弱さ。

▲さて伸び切つた二十一歲の女はといふと瑞典は十五貫三百匁であつて、日本婦人は十二貫八百五十匁である。之は娘盛りの運動の不足に大原因があるといふ。

大正十一年六月一日印刷(毎月一回十日發行)
大正十一年六月一日發行(一部定價金二十錢)

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　本郷區眞砂町三十六番地　佐藤駒次郎
印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社
發行所　神田區猿樂町七番地　廓淸會發行所
電話神田四〇二〇番
振替東京二七〇七二番

◉御注文の際は必ず雑誌『廓清』による旨を申添を乞ふ◉

酒きらいになる薬

禁酒丸

一週分 一圓五十錢
二週分 二圓八十錢
三週分 四圓

どんな酒煙草のみても害なく心からきらいになる。郵券二錢送れば說明書及大澤博士其他名士の

禁酒禁煙論進呈

禁煙散

煙草きらいになる薬

金壹圓 金貳圓 金參圓

本舗 大阪靱南通二丁目 森田商店

電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二一二六番

産婦人科。小兒科

女醫 鷲山改め 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

産室及病室の設けあり随時入院の需めに應ず

東京市麴町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

新刊

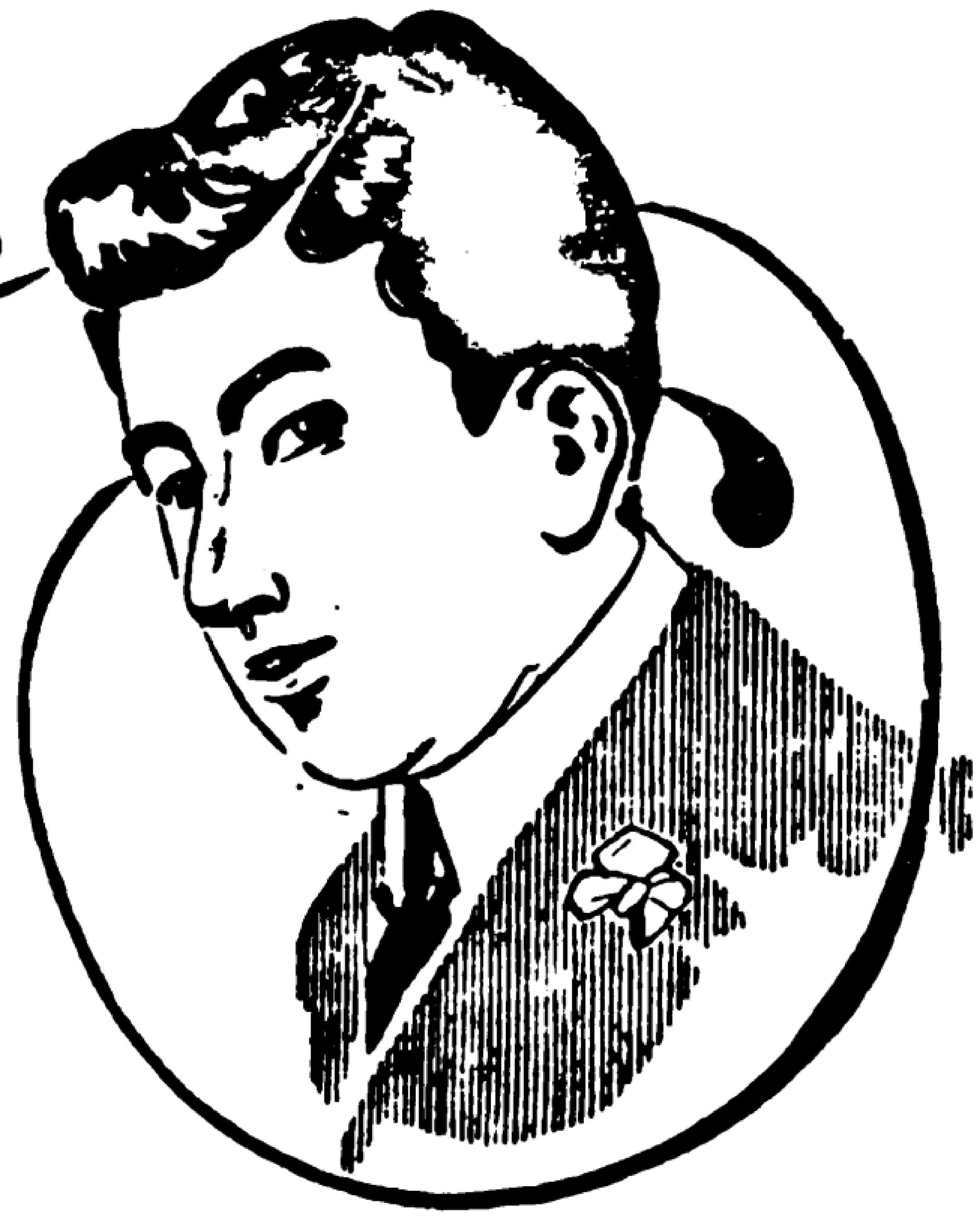
侯爵 大隈重信序
博士 プリンス・マロー著
文學士 小松武治譯

健康と性慾

三六版百七十頁
特價三十錢税四錢

廓清會本部發行

Chiyoda Pomade



貴公子のニュースタイル

外交上の應對に方り他人に快感を與ふるものは

頭髮の自然美と薫香

これ……清新なる

千代田ポマード

愛用者の誇なり……

男女の毛を自然美に蘇らせクセ・ネバリとフケを去る

本舗 山岸三之助

（大正七年十一月一日第三種郵便物認可）
（大正十一年六月一日印刷納本）（毎月一回十日發行）

初夏の
口中衛生料として第一！
芳香さわやかなる
ライオン水歯磨

用法
この水歯磨二三滴をコップにたらし、
ぬるま湯で薄めてから、がらがらさう
ひをするのです。うがひと同時に歯
刷子をお使ひになれば一層有効です。

定價一冊金二十錢